

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第51号

発行/いずみ会 編集/いずみ会広報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内

事務所 東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号

ホームページ <http://www.izumikai.com> e-Mail izumikai@v7.com

主な記事

2～5 執行部関係

6 母校関係

7 恩師近況

8～9 緑蔭

10～11 同期会・OBOG会関係

12 お知らせ

中高一貫教育校の現状 理事 中川 徹夫 (高15期)



私が、母校「東京都立大泉高校」の「中高一貫教育校」として再スタートする事を知ったのは、今から3年前の事です。丁度「いずみ会」発足60周年記念行事の実行委員をやっていた時のことでした。皆で「部活」はどうなるのか、伝統の「文武両道」が、消滅してしまうのではないかと話し合ったものです。私は以前「新しい歴史教科書を作る会」等のシンポジウムや、昨年発足した「日本教育再生機構」等の集会に出席し、現在の公教育は、相当ひどい事になっている、との認識はありましたが、母校の中高一貫校担当になったのはいいものの、公表されている資料による以外のことは解りません。ここでは現時点で解っていることをご報告し、皆様方の参考の一助となればと願っております。

本年3月末、東京都教育委員会がまとめた報告書に依りますと、①現高校が母体校となり、施設もそのまま踏襲します。設置形態は「併設型」で全日制普通科です。②中学、高校共3学期制、中高で24学級(1クラス40名)です。③高校5クラス、中学3クラスで、初年度は高校5クラス、中学3クラスを募集します。④平成22年度より新体制に移り、3年後に最終(計960名)が揃います。本年4月上旬に、小林校長に伺ったところでは、新たに「開設準備室」を立ち上げ、そのメンバーが新しい制度の学校の主体となる、との事でした。

併設型の中高一貫教育校としては、既に平成17年度よりスタートした都立白鷗高校が台東区に有り、昨春秋、文化祭の折訪問してみました。都心の学校で、校庭は狭く、しかも中・高が東西に分かれている、という不利な条件の様に感じられましたが、文化祭を見た限り活発で母校にだけは取っていかない、と思われました。突然の申し出にもかわらず、佐々木校長が面談に応じて下さり、「地域、保護者の皆様方の関心が非常に高く、学校をよくバックアップして

下さるので非常に心強い」とのお言葉でした。「大泉高校さんは、私共より学力は高いし、立派な桜並木と、広大なグラウンドをお持ちで、羨ましいです。」とは本音だと感じましたが、「和太鼓」などは素晴らしいもので、全国でも上位のレベルとか。ちなみに校内にOBの事務所が有り、連絡は密のようでした。この点私自身も含め、大泉高校は地域、保護者、OBの関心や盛り上がり方が今一つ、と感じています。今後学校であれ、都の教育委員会であれ、電話なり、メールなりで、どんどん疑問点を問い合わせることが必要ではないかと思えます。早い話、野球、ラグビー、サッカーの各部等多人数の部員を要する部は、自然消滅する可能性も否定できないと思えます。又、先般改正された教育基本法や関連法の精神が今後どう運用面にかされるのか、

人材バンクへの思い

理事 大高 光蔵 (高13期)



平成17年にご案内いたしました人材バンクは現在200名弱のご登録をいただきました。多士済々、千差万別、意欲満々、素晴らしいメンバーがそろっております。

昨今、教育環境の大きな変化が、母校を統廃合で失い、同窓会も存在しない、また雲散霧消してしまい、母校として認識できる母体を失った同窓会をあちこちで見につけ、まことに残念でなりません。お蔭様で我らがいずみ会は母校、有志諸兄のご協力、ご奉仕で、62年間しっかりとつないでまいりました。しかし、この変化はいずみ会にとっても他人事ではありません。今後については、中高一貫校への対応を含め、変化に対応できる仕組み作りが必要と考えます。そのためには、衆知を集め、多くの皆様が楽しくて・ためになるものを作り上げ、多くの賛同・参加を得て、会員が一体

ということも見守ってゆきたいところで。私なりに調べた限りでは、学校や役所任せでは「名門校」は絶対にできません。この点、母校は卒業生の子供達が再び入学するケースも多く、伝統が受け継がれている様に思います。去る6月9日(土)に開催された「平成19年度いずみ会定時評議員会」が無事閉会し、片づけを終えて、校庭の横を数人の仲間達と歩いていた時の事です。校庭で練習中小休止していた野球部員が10名くらいいたのですが、皆一斉に我々に向かって一礼し、口々に「こんにちは」と大きな声で挨拶してくれたのです。思わずこちらも「こんにちは」、「頑張れよ」と大きな声が出ました。なんとも言えず嬉しく、身体中に暖かいものが流れるのを感じ、この「美しい心」を大切に守って次世代に引き継ぎたいと強く感じた次第です。背後に都内屈指の名園を持ち、広大な敷地と豊かな自然を生かし、さらなる「名門校」として発展する様、OBの一人として微力を尽くしたい、と念じて居ります。

化していくが必要かと思えます。それが人材バンクを活かした活動であると思えます。

昨年の具体的な活動は、母校への「情報の授業」支援を行いました。また、3名の世話役の強力なご支援のもと健康麻雀教室・囲碁同好会・源氏物語講座が順調に展開しております。この会で初めてお会いした人たちも多く、新たな友達をたくさん作っていただけたことを大変嬉しく思います。

いずみ会全体を考え、上下・横・しがらみ・男女の別を超えた、和気藹々、初めての方、知らない方も楽しんでいただけるサークル・講座を心がけてまいります。今回、新たな世話役をお願いし以下の2つのクラブ、2つの講座が発足、開講を予定しております。

☆歩く「まんぼくらぶ」

☆歌う「歌声喫茶・いずみ」

☆飲む「ワインがもっと美味しくなるお話」

☆聴く「オペラがもっと楽しくなるお話」

皆で参加し、母校を盛りたて、それぞれが胸を張れる「私のいずみ会」にしようではありませんか。なお各活動の様子、お問い合わせ等については、それぞれ8・9面、11面に関連記事がございます。

本年度

いずみ会総会・懇親会 (於 練馬区立勤労福祉会館)

10月28日(日) 午後1時30分より受付開始 (詳細は12頁をご覧ください。)

評議員会報告

総務・企画部部长 大高 光蔵 (高校13期)

平成19年6月9日(土)13時から母校・円形校舎1階・食堂にて、平成19年度定時評議員会が開催されました。

評議員94名(他に委任状提出260名)、一般会員3名、が出席しました。

司会・早川淳副会長から開会が宣せられ、議事に先立ち、石井会長あいさつ、小林洋司校長のお話、本年5月より本校に転任になった大島 良副校長のご紹介がありました。

議長に田中昇次評議員(高13期)を選出し、議事に移りました。

【審議事項】

第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算承認の件(有田二郎事務局長及び杉山肇副会長・会計部長代行)が、賛成多数で承認された。

第2号議案 平成19年度事業計画案及び予算案承認の件(有田二郎事務局長及び杉山肇副会長・会計部長代行)が、賛成多数で承認された。

平成18年度 いずみ会事業報告

いずみ会は、規約及び平成18年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

第1. 総会の開催

平成18年10月28日(土)母校の円形校舎1階にて開催した。

前半の総会は理事会による進行で、いずみ会の平成17年度事業報告・会計報告と、平成18年度事業計画・収支予算案が報告された。後半の懇親会は母校の都合により場所を変え、勤労福祉会館にて「新6の会」の企画で「ロック:6ユー!!」をテーマに開催され、総勢140名余の出席者で盛り上がった。

第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ50号を平成18年10月1日に発行した。主な記事は次のとおり。

- いずみ会創立60周年記念式典・祝賀会の報告。(カウ写真入り)
- 平成18年度評議員会の報告
- 平成17年度事業・収支決算報告と平成18年度事業計画・予算
- 新役員紹介
- 会員情報(同期会情報等)
- 母校関連情報

2. ホームページの刷新

・会員の関わる演奏会、同期会等の開催等の会員の活動状況、中高一貫校に関する情報などの母校情報の告知を展開した。

第3. 会員情報の更なる整備

1. 会員の住所等の把握のために、期の幹事を集めた部会を2回開催し、会員情報の把握に努力し、平成18年度の住所データの推移は以下のとおりとなった。

- ・会報が返送され転居先等の住所不明判明……………352名
- (なお、会報の送付数は 約16,800名)
- ・住所変更届け、期の幹事からの連絡などによる住所判明……………682名
- ・59期生の会員登録数……………283名
- ・59期生の住所等未登録数……………35名

2. いずみ会内部における個人情報保護のために、「個人情報取扱規定」と会員情報部内部での管理運営のため「個人情報管理運営内規」を定めた。

第4. 将来に向けての運営体制の拡充

- いずみ会室の整備と拡充
 - ・机と椅子を導入し楽に会議ができるよう変更した。
 - ・室内環境改善のためエアコンを交換した。
- 事務の効率化と事務局体制の確立
 - ・パソコン、プリンター等を購入した。
 - ・電話、FAXを設置した。
- 会員相互の交流の活発化
 - ・いずみ会室を交流の場として、人材バンク登録者の協力を得て、「健康麻雀教室」、「囲碁教室」を開催している。
 - ・文化面では、「源氏物語講座」を開講し

た。当初11名でスタートしたが、現在は16名まで受講者が増加し、会員の交流活発化が図られつつある。

4. 会運営のIT化推進

・いずみ会室に設置したパソコンをインターネットに接続し、データの一元管理化の足がかりを作った。

第5. 母校との連携

1. 平成18年9月17・18日母校の文化祭に参加し、「いずみの広場」においていずみ会員が卒業したいろいろな大学の卒業証書(写)を展示するとともに、囲碁教室など開催し在校生並びに保護者等との交流を図った。

2. 平成19年3月12日卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催した。

3. 校長先生はじめ母校教職員、PTA関係者に働きかけ入会金の納入の促進に努めた。

4. 母校の中高一貫校問題では、「基本計画検討委員会」に、いずみ会として日野弘氏(高校6期)が参画するとともに、担当の理事を定めて、フォローした。

5. 母校の要請で、情報教育の授業の支援を行った。

第6. 人材バンクの設立

1. 60周年記念事業の一環として会員に参加を呼びかけ、応募した方々のリストを作成した。

2. 大軒史子氏(高校9期)による、「源氏物語」の講座が開講した。

3. 会の活性化の為の趣味のクラブとして、「健康麻雀教室」と「囲碁教室」が活動を始めた。

第7. 財政管理

1. 会計制度の更なる定着化を図り、適切な執行を行った。

2. 運営の定常化を図り、月次決算の準備を進めた。

第8. 評議員会の開催

1. 定時評議員会を、平成18年6月3日に開催し、評議員89名が出席した。

2. 「平成17年度事業報告と収支決算」並びに「平成18年度事業計画と予算」が承認された。

3. 規約の改正が提案され、役員の辞任手続きと理事・監査役の補充選任する手続きが承認された。

4. 役員改選が審議され、候補者19名全員が承認された。

第9. その他の事業

いずみ会の活動を推進するため、平成18年度の評議員会から平成19年度の評議員会までの間次の事業を行った。

1. 理事会の開催(10回開催)
2. 監査会の開催(中間監査と期末監査の2回開催)
3. 各期評議員の登録更新

【報告事項】

1. 18年度のいずみ会室の使用状況(合計59回、総人数444人)について(有田事務局長)、報告された。

2. 総務企画部(大高光蔵部長)

1) 会報いずみを9月下旬に発送するが、各期毎にチラシ(会合、期の皆さんへの連絡等)を無料で同梱できます。A4版で8月末締切、大高まで届けてください。

2) 会員が参加できるサークルを、いずみ会室を使って展開したい。現在皆さんが催している、また考えている、サークルあるいは会合を一緒にやりませんか。

★健康麻雀教室・青山喜彦(高5期)、囲碁同好会・田島寛(高10期)、源氏物語・大軒史子(高9期)が順調に展開しております。ぜひご参加ください。

3. 広報部(須藤一彦部長)

1) 今年の会報はモノクロ写真で12ページにまとめる。

2) 会員皆様の同期会・展覧会等、催事の情報をご連絡ください。

4. 会員情報部(村上広部長)

1) 個人情報取扱規定をぜひ読んで頂き、ご理解を頂きたい。

2) いずみ会関連の名簿を廃棄する際はシュレッダーで裁断してください。

5. 7の会(中江和夫代表)

「7の会」は会長を7期・山田清子さんとし、総会後の懇親会の企画運営の準備を進めています。テーマは昔懐かしい「歌声喫茶」のイメージ、キャッチフレーズは「7倍楽しい7の集い」、大勢の参集を期待しております。

6. 中高一貫校について(中川徹夫理事)

2月24日に母校において、中間報告会が開かれ出席した。内容は校長先生のお話の通りである。

以上で議事が終了、中本攻副会長・閉会の辞で、定時評議員会が終了しました。このあと、会費制の懇親会に移りました。

平成19年度 いずみ会事業計画

いずみ会は、規約に沿って、平成19年度に次の事業を実施する。

第1. 総会の開催

平成19年10月27日(土)に開催する。前半は、いずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「7の会」の企画・運営による懇親会を行う。

第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第51号を平成19年10月1日に発行予定とする。主たる記事は次のとおり。

- ・平成18年度事業・会計報告と平成19年度事業計画・予算
- ・平成18年度いずみ会行事報告
- ・会員情報(同期会情報等)
- ・役員改選の公示
- ・母校関連情報

2. ホームページの充実

・容量のより大きなサイトへの移行

・過去5年間の会報の掲載

・会員が参画する展示会、演奏会情報等の充実

第3. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、各期会員情報部幹事の会合を2回実施する。

2. 「高校60期」の名簿を作成し、「60周年記念名簿」とともに新入会員に配布する。

3. 海外在住の会員に対するWebページの紹介がききを発進する。

第4. 将来に向けての運営体制の拡充

1. 会運営のIT化推進

データ管理の一元化の具体的な仕組み作りを、運用試験も含めて検討する。

2. 人材バンクをいずみ会活性化の源泉と位置づけ、事務局内に担当部署を置き、更なる発展を期する。

3. 各部の事務局幹事の充実を図り、次世代へのスムーズな移行を目指す。

第5. 母校との連携

1. 平成20年3月13日(木)予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催する。

2. 平成19年9月16日(日)~17日(月)予定の母校文化祭に参加し、「いずみの広場」においていずみ会のPRをすると共に、在校生並びに保護者との交流を図る。

3. 新入会員の加入に際し協力を依頼する。

4. 昨年度に引き続き情報教育等の支援を積極的に行う。

第6. 人材バンクの活性化

1. 現在進行中の「健康麻雀教室」「囲碁同好会」「源氏物語講座」を継続推進する。

2. 新たな、会員参加型のサークルを立ち上げて、幅広く会員交流の輪を広げる。

3. 人材バンクの登録者の拡大と組織化を図り、登録グループ相互の交流も推進する。

第7. 財政管理

1. 財政改善策検討のため、プロジェクトチームを立ち上げ、中長期に亘る収入の安定化を検討する。(会費制度の検討を含む)

第8. 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成19年6月9日(土)に母校にて開催する。

第9. その他の事業

1. 理事会の開催

2. 監査会の開催

3. 役員改選に向けての準備作業

4. 各期評議員の登録更新作業

◇評議員会出席者一覧◇

- 【中1期】猪股麒一郎、春日孟、永川俊彦、本村禮二
- 【高2期】石川宜、稲村啓、高橋宏、武見健三、山本勲
- 【高3期】長谷川浩吉、山岡竹三郎
- 【高4期】加羽沢暉幸、松谷哲治、橋本宏、古田寛昭
- 【高5期】青山喜彦、石田要久、大澤登、嶋正彦、静岡五郎、松坂清、石原須美子、梶良子
- 【高6期】有田二郎、石井信三、杉山肇、豊島志朗、西多英治、村井和郎、神田計子、舂巴淳子
- 【高7期】小林清人、三島英雄、岡野朝子、本道操子
- 【高8期】小熊坂満邦、岡崎美代子
- 【高9期】須藤一彦、清水信、大軒史子
- 【高10期】西谷和子、保延義夫、野口悦子、田島寛、小川皓司
- 【高11期】加藤勇、真田宗興、関根強一、富田順子
- 【高12期】相川光夫、板橋昭寿
- 【高13期】丸山和郎、早川淳、平野忠雄、田中昇次、中本攻、豊田孝美、小松富貴子、国澤宗子、市川敬二、大高光蔵、高津幸一、戸田一誠
- 【高14期】吉田登代子、増岡建吾、田村誠、布施百合子、國谷俊之、三原寿太郎、浦田佐恵子、大串康夫
- 【高15期】村上広、速水洋志
- 【高16期】大場修一
- 【高17期】中津隈健一
- 【高18期】安斉秀行
- 【高19期】三原千砂子、宮崎幸夫
- 【高20期】宮本正信、甲元真人
- 【高24期】真柳仁
- 【高25期】吉田寛、谷口俊三、原節子、加納達信
- 【高27期】宇野伸一、竹林悦子
- 【高29期】斎藤俊夫、田中宏高、大久保靖
- 【高31期】高瀬浩和
- 【高32期】仲沢浩一
- 【高39期】真下敏

平成18年度 収支決算

(自平成18年4月1日～至平成19年3月31日)

(収入の部)				単位：円
科目	平成18年度予算	平成18年度実績(A)	予算加不足((A)-予算)備考	
入会金	1,115,000	1,110,000	△5,000	
前受金戻入	1,090,000	1,090,000	0	
当期入金分	25,000	20,000	△5,000	
会費	2,909,000	2,842,000	△67,000	
前受金戻入	2,409,000	2,409,000	0	
当期入金分	500,000	433,000	△67,000	
寄付金	1,000,000	689,751	△310,249	
総会参加費	375,000	411,000	36,000	
名簿関係収入	150,000	453,000	303,000	
名簿売上	150,000	453,000	303,000	
雑収入	120,000	133,656	13,656	
小計	5,669,000	5,639,407	△29,593	
前受金	3,200,000	3,274,000	74,000	
入会金	1,000,000	855,000	△145,000	
会費	2,200,000	2,419,000	219,000	
合計	8,869,000	8,913,407	44,407	
前期繰越金	3,036,000	3,036,000	0	
総合計	11,905,000	11,949,407	44,407	

(支出の部)				単位：円
科目	平成18年度予算	平成18年度実績(A)	予算残(予算-(A))備考	
総会関連費	505,000	482,244	22,756	
開催費	375,000	263,921	111,079	
準備費	130,000	218,323	△88,323	
役員・評議員会合費	620,000	344,312	275,688	
評議員会開催費	250,000	228,329	21,671	
理事会・委員会費	220,000	66,380	153,620	
総務・企画活動費	150,000	49,603	100,397	
監査役会費	10,000	3,602	6,398	
広報費	3,540,000	2,913,688	626,312	
会報印刷関連費	850,000	736,788	113,212	
会報発送関連費	2,200,000	1,747,180	452,820	
封筒作成費	230,000	239,400	△9,400	
振込用紙印刷費	150,000	139,125	10,875	
ホームページ関連費	70,000	49,195	20,805	
広報部活動費	40,000	2,000	38,000	
会費関連費	170,000	102,830	67,170	
口座振替手数料	120,000	82,330	37,670	
会計部活動費	50,000	20,500	29,500	
名簿関連費	290,000	165,581	124,419	
新入会員名簿作成費	70,000	19,350	50,650	
会員情報部活動費	220,000	146,231	73,769	
母校連絡費	100,000	23,150	76,850	
会員活性費	20,000	12,155	7,845	
消耗品費	50,000	1,450	48,550	
什器備品等	0	5,617	△5,617	
ハード(パソコン)	0	5,490	△5,490	
ソフト(パソコン)	0	127	△127	
いずみ会室関連費	1,390,000	941,639	448,361	
名簿積立金繰入	200,000	200,000	0	
業務委託費	0	0	0	
雑費	50,000	11,455	38,545	
予備費	150,000	74,940	75,060	
小計	7,095,000	5,282,663	1,812,337	
積立金繰入	3,200,000	3,274,000	△74,000	
前受入会金	1,000,000	855,000	145,000	
前受会費	2,200,000	2,419,000	△219,000	
総合計	10,295,000	8,556,663	1,738,337	

(収支の部)				単位：円
項目	18年度予算	18年度実績		
当期収入	8,869,000	8,913,407		
当期支出	10,295,000	8,556,663		
当期収支残	△1,426,000	356,744		
前期繰越金	3,036,000	3,036,000		
期末剰余金	1,610,000	3,392,744		

貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(資産)			(負債)			単位：円	
科目	2006.3.31現在	2007.3.31現在	増減	科目	2006.3.31現在	2007.3.31現在	増減
定期預金	27,628,725	21,001,000	△6,627,725	前受入会金	1,090,000	855,000	△235,000
普通預金	5,941,341	11,399,322	5,457,981	前受会費	13,298,000	13,308,000	100,000
振替口座	587,330	2,169,251	1,581,921	名簿積立金	1,866,008	2,066,008	200,000
現金	132,612	52,179	△80,433	負債合計	16,254,008	16,229,008	△25,000
合計	34,290,008	34,621,752	331,744	正味財産			
				別途積立金	15,000,000	15,000,000	0
				期末剰余金	3,036,000	3,392,744	356,744
				正味財産計	18,036,000	18,392,744	356,744
				合計	34,290,008	34,621,752	331,744

平成19年度 収支予算

(自平成19年4月1日～至平成20年3月31日)

(収入の部)					単位：円
科目	平成18年度予算	平成18年度実績	平成19年度予算(案)	(H19予算H18実績)	
入会金	1,115,000	1,110,000	895,000	△215,000	
前受金戻入	1,090,000	1,090,000	855,000	△235,000	
当期入金分	25,000	20,000	40,000	20,000	
会費	2,909,000	2,842,000	2,829,000	△13,000	
前受金戻入	2,409,000	2,409,000	2,329,000	△80,000	
当期入金分	500,000	433,000	500,000	67,000	
寄付金	1,000,000	689,751	700,000	10,249	
総会参加費	375,000	411,000	450,000	39,000	
名簿関係収入	150,000	453,000	60,000	△393,000	
名簿売上	150,000	453,000	60,000	△393,000	
雑収入	120,000	133,656	60,000	△73,656	
当期収入合計	5,669,000	5,639,407	4,994,000	△645,407	
前期繰越金	3,036,000	3,036,000	3,392,744	356,744	
前受金	3,200,000	3,274,000	3,400,000	126,000	
入会金	1,000,000	855,000	1,000,000	145,000	
会費	2,200,000	2,419,000	2,400,000	△19,000	
繰越金&前受金	6,236,000	6,310,000	6,792,744	482,744	

(支出の部)					単位：円
科目	平成18年度予算	平成18年度実績	平成19年度予算(案)	(H19予算H18実績)	
総会関連費	505,000	482,244	580,000	97,756	
開催費	375,000	263,921	450,000	186,079	
準備費	130,000	218,323	130,000	△88,323	
役員・評議員会合費	620,000	344,312	455,000	110,688	
評議員会開催費	250,000	228,329	250,000	21,671	
理事会・委員会費	220,000	66,380	105,000	38,620	
総務・企画活動費	150,000	49,603	100,000	50,397	
監査役会費	10,000	3,602	10,000	6,398	
広報費	3,540,000	2,913,688	2,995,000	81,312	
会報印刷関連費	850,000	736,788	650,000	△86,788	
会報発送関連費	2,200,000	1,747,180	1,800,000	52,820	
封筒作成費	230,000	239,400	250,000	10,600	
振込用紙印刷費	150,000	139,125	145,000	5,875	
ホームページ関連費	70,000	49,195	120,000	70,805	
広報部活動費	40,000	2,000	30,000	28,000	
会費関連費	170,000	102,830	150,000	47,170	
口座振替手数料	120,000	82,330	120,000	37,670	
会計部活動費	50,000	20,500	30,000	9,500	
名簿関連費	290,000	165,581	160,000	△80,521	
新入会員名簿作成費	70,000	19,350	30,000	10,650	
名簿発送費	0	74,940	10,000	△64,940	
会員情報部活動費	220,000	146,231	120,000	△26,231	
母校連絡費	100,000	23,150	50,000	26,850	
会員活性費	20,000	12,155	50,000	37,845	
消耗品費	50,000	1,450	30,000	28,550	
什器備品等	0	5,617	20,000	14,383	
ハード(パソコン)	0	5,490	20,000	14,510	
ソフト(パソコン)	0	127	0	△127	
いずみ会室関連費	1,390,000	941,639	1,051,000	109,361	
名簿積立金繰入	200,000	200,000	200,000	0	
業務委託費	0	0	0	0	
雑費	50,000	11,455	30,000	18,545	
予備費	150,000	74,940	100,000	100,000	
当期支出合計	7,095,000	5,282,663	5,881,000	598,337	

(収支の部)				単位：円
項目	平成18年度予算	平成18年度実績	平成19年度予算(案)	
当期収入合計	5,669,000	5,639,407	4,994,000	
当期支出合計	7,095,000	5,282,663	5,881,000	
当期収支残	△1,426,000	356,744	△887,000	



挨拶する石井会長

これからの「いずみ会」に期待

いずみ会会長 石井 岱三(高6期)

いずみ会の会長を引き受けた当初、会の状態は大変厳しく、想像していた以上の状態でありました。理事の皆さんは、皆協力的に各自の役割を果たしてくれていましたが、個人プレーであっていずみ会の組織ではないと、まず初めに感じました。今後この会を維持するためには、組織を強化して組織力によって会を進めなければ将来がないと考えていたからなのです。

幸いにして会計を担当していた女性達が、確実に積み上げ方式で役割を保っていただいていたことが何よりの拠り所でありました。しかし、決算になると慣れていないことと、寄せ集め的な作業でありましたので苦勞をした点が多くありました。一時期は後輩の会計士さんをお願いをして決算書を作成したりして、苦勞も一つの段階は乗り越えることが出来ました。いずみ会の備品類も役員達が個人の家で持っているの、どこに何かあるのかバラバラの状態、不明な備品が出てきたこともありました。これ等の不安も、いずみ会室を駅前を設置すること

によって解消することができ、組織活動にも安定感がでてきたことに“風”を感じています。

いずみ会の拠点は、小さな集会や役員会にも使われ、現在ではグループ活動(健康マージャン・囲碁の会)や、文化面では源氏物語の勉強会にまで使われ発展してきました。一方では、人材資源の活用として「人材バンク」を創り、卒業生の活躍の場を紹介する事業も準備をしているところです。多くの人材が多面的に幅広くいることが分かりましたので、会員の方々の集会や勉強会に役立つことができると期待をしています。

いずみ会は会員の所在を把握することだけでなく、この組織を上下に広げて皆様の活動の援助をしていけるものと思っております。本会を利用して、人材派遣事業を延ばすことによっていずみ会に力が付くことと期待しています。お互いに助け合う共助的な精神が、いずみ会を支えることになると思います。

(6) 会員情報調査のため、住所不明者氏名のウェブページ掲載

(7) 会員情報調査のため、住所不明者氏名一覧表(紙媒体)の作成

3. 個人情報の更新

本会では、個人情報の更新を、以下の方法で受け付けます。

- (1) 本人(逝去等の場合には家族)からの更新申請
- (2) 会員情報担当幹事(期ごとに選任)からの連絡
- (3) 知人・友人等、第三者からの情報提供については、本人(もしくは家族)の確認後に更新

4. 個人情報の提供

本会では、会員に対して、個人情報データベース等を提供することはありません。また、上記第2の利用目的以外で、第三者に情報を提供することはありません。

第(2)第(3)又は(4)号に基づき個人データを提供する場合には、情報管理徹底のための当該期又はグループにおける個人情報管理体制の事前審査を行い、係る管理体制が適正と判断された場合に限り提供します。

同窓会報の発送、および同窓会名簿の発行に際し、個人データ、個人情報データベース等の取扱の全部又は一部を委託する場合には、本会は、その取扱を委託された個人データの安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行うものとします。

なお、配布物である会員名簿作成に際しては、各会員に対して自宅住所、自宅電話番号の掲載の可否について確認した後、記載内容を決定します。

5. 個人情報の管理・運用体制

本会では、役員から選出された会員情報部長と会員情報部長が認めた担当者のみが個人情報データベース等の管理・運営の任に当たります。また、その任に当たっては、別途定めた運用内規に沿って、行います。

いずみ会 個人情報取扱規定

2007年1月27日制定

都立大泉高等学校同窓会・いずみ会(以下、「本会」という)は、会員の個人情報、個人データ、個人情報データベース等による以下の通り、管理・運営します。

1. 個人情報の範囲

本会では、以下の個人情報について、管理・運営するものとします。

- (1) 氏名(現姓名・旧姓名)
- (2) ID(卒業期、卒業時のクラス、出席番号、等を示すもの)
- (3) 自宅住所(海外居住者等の場合、連絡先住所の場合あり)
- (4) 自宅電話番号
- (5) 携帯電話番号
- (6) メールアドレス(一部の会員のみ。内部管理用。)

2. 個人情報の利用目的に該当する事項

本会では、各会員から本会の管理・運営を利用目的としてその同意を得て取得した個人情報を、以下の事項に限定して利用します。

- (1) 同窓会報の各会員宛送付
- (2) 同窓会からの各種各会員宛の通知
- (3) 同期会開催時、期の責任者からの申請に基づき、期のDMラベル(紙媒体)の当該期の責任者宛て提供
- (4) クラブOB・OG会、及びそれに準ずるグループの責任者からの申請に基づき、要請のあった会員の情報(紙媒体)の当該グループの責任者宛てに提供
- (5) 同窓会名簿の作成

来年は役員改選の年です

現在の役員は、平成19年度をもって任期満了となります。役員(任期2年)はいずみ会発展のため、理事会等の会合に出席し、事業を検討し、実行します。

現在、各期から選出された評議員をされている方、同期の方から推薦を受けている方が望ましく、また若い期の方からの立候補・推薦を宜しくお願ひします。

選挙要綱は次のとおりです。

1. 次期いずみ会役員を選任は来年度定時評議員会(平成20年5・6月)において行います。
2. 各役員選挙に対する立候補届並びに推薦届の受付期間は、平成19年10月1日から平成20年1月31日迄です。
3. 立候補届・推薦届は下記の事項を明記して、「いずみ会選挙管理事務局」に郵送またはe-Mail(Word等で作成し添付する)・FAXで送信してください。(記載漏れがあると、無効となる場合がありますので、ご注意願ひします。)

4. 届の受理確認は、平成20年2月中にご連絡します。

5. 送付先

〒223-0064 横浜市港北区下田町6-23-5 有田方
いずみ会選挙管理事務局
FAX: 03-3925-1486
e-Mail: izumikai@v7.com

記

《届出に明記する事項》

- ①立候補または推薦する役職名
(会長、副会長、理事、監査役)
- ②立候補者または被推薦者ご本人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ③推薦届の場合は、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ④立候補または推薦の理由(200字以内)

6の会から7の会へ

平成18年度 いずみ会懇親会 開催報告

新6の会事務局長 大場 修一(高16期)

平成18年度のいずみ会懇親会は、母校側の都合もあり、大泉学園駅南口の練馬区勤労福祉会館での開催となり、当番期2巡目の「新6の会」が企画・運営を担当しました。

母校での総会のあと会場を移し、140名余が定刻に会場に集まり、柴崎幹男実行委員長(高校26期)の司会で開会、豊嶋志朗新6の会会長(高校6期)が開会挨拶、大和田啓三郎氏(中学1期)の乾杯と続き、懇親会は和やかに始まりました。

次に日比野弘氏(高校6期、中高一貫校協議会の委員)のスピーチや、「いずみの広場開設5周年」にちなみ展示パネルを一新・追加したとの報告、「会報いずみ50号記念号」発行等の報告があり、イベントとして、人材バンク事業の紹介、ヤング、ミドル、シニアの相談コーナー、部・クラブの情報コーナーなどの展示や、「同期・同窓カップルさんいらっしゃい」コーナーが開かれ、該当会員に記念品が贈呈されると会場が湧きました。

続いて正面に「助教」経験者が勢揃いし、富浦臨海学校での生徒指導の思い出や仲間同士の交流の意義などが語られ、会場に展示の当時の資料・記念品などが注目されました。

会館内レストランの料理と、石井会長提供の日本酒など豊富な飲み物で、会は盛り上がり、恒例の校歌斉唱は、平野ゆりさん(高校26期)のグランドピアノの伴奏で歌われ、続いての校友の歌のあと、小林知雄氏(高校16期)が母校応援のエルで締めました。

最後の引継式では、正面に掲揚されていたペナントが、石井会長から山田清子氏(高校7期)に渡され、翌年度の当番となる「7の会」に引き継がれました。



一緒に歌って“楽しさ7倍「7の会」”

「7の会」代表 山田 清子(高7期)

「7の会」世話役六人が、新宿の歌声喫茶“ともしび”へ実地体験として出向いたのは、台風・地震と不運な出来事にみまわれ、心を痛めた三連休の明けた7月17日の夕方でした。若かりし頃何度も通った人、私のように今回が初めてという者、それぞれにどんな所かと思いをめぐらして入りましたが、店のドアを開けた時、みな一様に何と明るく健康的だ、という印象を受けました。

ピアノ、アコーディオンの伴奏でマイクの前で楽しそうに歌っている男性二人、椅子に座っている中高年、いや若い人も手拍子、足拍子で一緒に声を張り上げています。「7の会」のメンバーもいつの間にか歌集をめくり歌っていました。なつかしいフォークソング・ロシア民謡・シャンソンの“お・シャンゼリーゼ”では長い脚を高々とあげてみせるお嬢さん、“北国の春”まで登板です。一緒に歌うことの楽しさを存分に生かしたのが、歌声喫茶なのだあらためて感心してしまいました。「乾杯の歌」ではジョッキを振りかざし、“青い山脈”では「7の会」の男性も前に出て体をゆすっていました。カラオケとはまた違った気分でしょう。

あっという間に時間は過ぎ“〜二度と許すまじ原爆を〜”の歌声を耳にしながら“ともしび”を後にしたのは八時を過ぎていました。

今年度いずみ会総会の懇親会の当番は「7の会」です。“楽しさ七倍7の会”とはなんだか面白いネーミングだと思いませんか。企画のメインは“歌声喫茶『ALWAYS七丁目』”の開店です。という訳で“ともしび”体験となったのです。とても楽しく十年若返ったとは六人全員の感想でした。10月28日は“ともしび”より楽しい店を開きます。昭和から平成とみんなに愛され歌われてきた歌の数々を歌集にまとめます。美味しい食べ物・飲み物、愉快なおしゃべりと共に仲良く歌いましょう。心地よい元気を差し上げられると思います。是非ご参加下さい。お待ちしております。



©FUJITA KAYOKO

平成18年度(第59期) 入会式及び卒業証書授与式

いずみ会副会長 早川 淳(高13期)

平成19年3月12日、母校・アリーナで、本年卒業される283名の卒業証書授与式・リハーサルが行われ、引き続き「いずみ会入会式」を行いました。いずみ会から杉山副会長・有田事務局長・大高総務企画部長・村上会員情報部長・平野理事・国谷理事・比嘉監査役そして私、早川が出席しました。

いずみ会へ入会する卒業生全員にいずみ会の概要、活動内容をお話し、会への理解と協力を求めました。卒業予定者の中に、いずみ会へ住所を登録しない人が数十名おり、早急に登録するようお願いしました。

入会式後、円形校舎・3階のいずみ会事務室にて「いずみ会名簿・創立60周年記念版」と59期名簿をクラス代表に手渡し、全員に無料で配布しました。

翌日の卒業証書授与式は杉山副会長・大高総務企画部長・村上会員情報部長、平野理事・国谷理事、大沢監査役と共に出席いたしました。「仰げば尊」「蛍の光」など



に代わり「マイフレンド」が歌われました。また、応援団による「校友の歌」は活気があり、将来のいずみ会を背負う若者は頼もしい限りでした。

《高校59期 評議員一覧》

- 1組・荒川知幸、笹真太郎、鈴木菜生
- 2組・久保陽子、山本智尋
- 3組・島崎 亘、若林美帆
- 4組・足立雅史、蔵居 悠
- 5組・遠藤 鮎、金剛寺まり子
- 6組・小俣大輝、高橋 岳
- 7組・小野 峻、安原里佳

文化祭参加報告

企画総務部長・大高光蔵(高13期)

平成18年9月17日(日)、18日(月)の両日、大泉高校の文化祭に参加しました。会場は図書室前にお借りしている、「いずみの広場」を開放し、いずみ会文庫(12頁参照)の展示はもとより、今回はいずみ会会員の大学卒業証書(学位記)40校の写しを展示しました。大学ごとにサイズ・内容・色・出身地記入など特色があり、大変な反響を呼びました。

快くお貸し頂きました諸先輩にこの場をお借りし、厚く御礼申し上げます。また、過去に全国大会・団体優勝の実績を持つ囲碁、いずみ会囲碁同好会の発足を記念し囲碁会場を設営、見学の中学生が連日参加し大賑わいでした。

特に現役の中に、かなりの実力者があり、名門復活の夢を膨らませてくれました。

今年は7の会の応援を得て、昔懐かしいALWAYS 7丁目を演出する予定です。例年9月中旬に開催、ぜひお越しください。

学校長ごあいさつ

大泉高校に着任して2年目となりました。昨年度1年間は、中高一貫教育校に向けて基本計画検討委員会の報告書をまとめました。中高一貫教育校は、本校の伝統である「文武両道」、「自主創造」を継承して、平成22年4月からスタートします。手始めに来年度、校内に開設準備室を設置します。中高一貫教育校の特色としては、第一に教養主義に徹し、言語系の科目と数理系の科目に力を入れ、さらにスポーツ教育を重視し、心身共にバランスのとれた生徒を育成すること、第二に情報機器を縦横に活用して、効果的な学習指導を展開すること、第三に「自校完成型教育システム」と銘打って、塾や予備校に通わなくとも、四年制大学へ進学できる体制を整えることの三つを挙げています。本校とともに中高一貫教育校として開校する他の3校と比較して、特色を打ち出すことができたことと自負しております。2年目の今年度については、施設面の改善に力を注ぎたいと考えております。



さらに、母校校としての大泉高校は、今年度、広報活動の充実と、学校組織体制の整備、および進学実績の伸張を学校経営計画で重点目標に掲げております。これまでの良い伝統を保持・拡充し、改めるべき点は改めて、新しい学校へとつなげるように努力していく所存です。今年度におきましても、本校の同窓会であるいずみ会の皆様のご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 小林 洋司

ソフトテニス部の実績

◆過去9年間の主な大会結果

- 平成13年 男子個人インターハイ出場
女子団体・個人関東大会出場
- 平成14年 女子個人関東大会出場
- 平成16年 男子団体・個人関東大会出場
女子団体関東大会出場
- 平成18年 男子団体関東大会出場
- 平成19年 男子個人関東大会出場

私が、この大泉高校に着任して今年で、9年目になります。着任した頃の部員は、男子2名、女子8名しかいませんでした。それが今では男女合わせて40名を越えています。

入部してくる生徒たちは中学時、実績を持っている生徒ばかりではありません。中には初心者の子も入部してきま

す。平成16年男女関東大会出場選手の中には初心者がいいます。本人たちの努力の結果だと思えます。うちの部員たちは、本当によく練習をしています。朝、昼、放課後。そして雨の日も、雪の日も。

この生徒たちのやる気が今のクラブを支えていると思えます。本当に生徒たちに感謝しています。

ソフトテニス部顧問 芦田浩敏



最近の水泳部について

大泉高校の水泳部は、本校にプールができたのを機会に創部されましたので、20数年の歴史があります。過去には、1990・2001・2002年にインターハイに出場しています。関東大会にはのべ15人の部員が参加していますが、そのうち1名が入賞を果たしています。

このような成績優秀な選手も輩出している大泉高校水泳部ですが、多くの部員は水泳の経験はあるものの、特別な実績を持っていたり、全国大会等で輝かしい成績を残

して卒業していったような人は少ない。しかし、どのようなレベルにある部員でも、一生懸命練習して、自己を高めています。

このような玉石混濁な水泳部ですが、昨年、2002年以降の関東大会出場を果たしました。現在2年生の松井聡子選手が、千葉県習志野市で行われた関東大会に参加しました。残念ながら体調不十分だったため入賞やインターハイ出場はなりませんでしたが、本年もすでに関東大会出場を決めており、7月25日からの大会に向けて、練習を重ねています。本年は、昨年以上の成績を残し、インターハイ出場を目指しています。

水泳部顧問 佐藤 譲

教職員人事異動

〔転出・退職〕 () 内は転出先等

- 副校長 佐久間曜一 (日野高校)
- 国語 佐藤 恒子 (退職)
- 国語 植村 久 (武蔵高校)
- 国語 荒木 敦史 (鷺宮高校)
- 地歴 飯田 一史 (新一橋高校)
- 数学 川上 憲一 (退職)
- 数学 矢萩 章夫 (工芸高校)
- 物理 原田 光男 (退職)
- 音楽 西田 豊 (杉並高校)
- 美術 田中 敏雄 (退職)
- 英語 小島 直子 (東久留米総合)

〔転入〕 () 内は前任校等

- 副校長 大島 良 (浅草高校)
- 国語 青木 圭子 (鮫洲工業高校)
- 国語 高橋 仁之 (久留米高校)
- 国語 平林 寿郎 (神津高校)
- 地歴 鹿子木由紀夫 (高島高校)
- 数学 倉井 庸維 (田柄高校)
- 数学 木村 直人 (大山高校)
- 物理 関根 貞雄 (武蔵丘高校)
- 音楽 伊藤貴代子 (東村山高校)
- 美術 香川 一隆 (つばさ総合)
- 英語 木之下 敬 (田柄高校)

進路状況 (浪人生を含む)

〔国公立大学〕

- 東北1、埼玉4、東京外語2、東京学芸4、東京農工2、東京工業2、電気通信2、鹿児島1、首都東京7、横浜市立1、その他1

〔私立大学〕

- 青山学院14、亜細亜7、学習院11、北里5、慶応義塾10、工学院4、国学院8、駒沢9、芝浦工業4、上智8、成蹊13、成城4、専修8、大東文化15、中央30、津田塾4、東京家政7、東京女子12、東京電機5、東京農業12、東京理科10、東洋37、独協4、日本39、日本女子8、法政51、武蔵25、武蔵工業3、明治45、明治学院14、明治薬科5、立教38、早稲田

33、その他129

〔短期大学〕

- 青山学院女子3、立教女学院2、東京家政4、その他2

総合大学校1、専修各種学校11、

〔就職〕

公務員等2

平成19年度の主な学校行事

- 4月9日・入学式
- 5月9日・体育祭
- 9月16日～17日・文化祭
- 10月13日・授業公開・学校説明会
- 10月14日・開校記念日
- 11月10日・授業公開・学校説明会
- 1月15日～18日・2年生HR合宿
- 1月27日・推薦入学
- 2月23日・一般入試
- 3月13日・卒業式予行
—いずみ会入会式
- 3月14日・卒業式

恩師近況

滝沢 順先生

社会科 1970～1985



教員生活38年間のうち15年間を大泉でお世話になりました。広尾高校で定年退職した後、池袋の芸術劇場で5年間嘱託をしました。その間、東京都教職員互助会のバスツアーの講師、デパートの会員さんの史跡巡りの講師、大学での内緒の仕事などをしまして、最後まで残った全国連合退職校長会の仕事も今年3月で辞めさせていただきました。どれも私の生涯学習でした。

大泉での鉄研の顧問という昔とった杵柄で、趣味の鉄道切手収集家のために「日本鉄道物語」というシリーズを分担執筆しました。今は「人気列車で行く日本の旅」というシリーズの分担執筆をしています。経費自弁で取材に行く「人気列車の旅」に酔っています。

体はもうガタガタで、病院通いをしていますが、大泉の先生方にもよく会います。

甲賀 多重子先生

保健体育 1960～1967



大泉高校在職時代は私の人生の中で大変大切なときでありました。思いがけずも新卒4年目にN先生ご結婚の為に交換で大泉に赴任し、2年後結婚、二人の子供の出産で退職し、引き続き非常勤で8年、計15年お世話になりました。この間、子育てと保育系専門学校への転職、大学で専任で入り、大泉を去りました。桜や銀杏並木に茶畑のある広々とした恵まれた環境。勤勉で情熱溢れ、個性豊かな先生方。のびのびと勉学とクラブ活動の両立をさせて青春を謳歌する生徒。沢山の行事への参加。体育祭・臨海学校・スキーやスケート教室・夏冬の榛名寮の生活等が走馬燈の様に想い出されます。今年還暦を迎えられる18期の担任もさせて頂きました。充実した青春時代を大泉高校で過ごせ、母校の様に思える大泉に関わる事が出来た幸せに感謝しています。

植村 久先生

国語科 1999～2007



大泉高校には世紀をまたいで8年間在勤しました。69年3月に卒業して以来30年ぶりに母校に戻ったわけですが、あまり母校のためにはなりません。まあ、あまりじゃまにならずに過ごすことができたので、まずまずかなと思います。

今年の4月からは、都立武蔵高校に勤務していますが、ここで定年を迎えそうです。武蔵高校は、大泉高校より先に08年4月から中高一貫校としてスタートします。

昨今の教育界は、世論の先をゆくようにグローバルゼイションの大波に乗り、格差社会は競争社会、競争社会は勝負の世界とばかりに、生徒の尻にムチをあてようとしています。拍車をかけられてあえぎつつもがんばっている姿を見て、頼もしく感じている世の人人も多いようですが、だいじょうぶかなあとってしまうこのごろです。

田中 透先生

理科 1972～1986



大泉には昭和47年度から61年度までの15年間勤務しました。その間、担任を3回やり、バドミントン同好会をつくり、部への昇格も果たしました。

私にとって大泉は、もっとも長く勤めた学校であり、思い出深いものがあります。臨海学校の「校友の歌」で迎えられる遠泳のゴール、修学旅行が無くなった後復活したHR宿舎、体育祭のマスコット等々、今でもいろいろな記憶が甦ってきます。

現在は、都立清瀬高校に勤めています。今年で還暦を迎え、来年の3月には定年退職となります。

趣味としてのバドミントンは細々とではありますが続いています。暇になったらラケットを持って、全国各地の体育館と温泉を巡りたいなどと考えています。

高橋 ひな子先生

音楽 2000～2006



平成12年春、見事な桜並木をくぐり抜け、大泉での生活が始まりました。花見も兼ねてお弁当を広げる生徒から「こんにちは！」と挨拶され、そのまっすぐな透き通る声に大泉の「自由」を感じたのを覚えています。あつという間の6年でした。

大泉桜高校に異動して2年目になります。が歳のせいか、環境に順応するのに手間取り未だ構内を右往左往する日々です。開校3年目でやっと3学年揃い、顧問となった吹奏楽部・合唱部も練習方法や、運営面の事など一つ一つ部員と一緒に形作っているところです。その積極的雰囲気刺激され、私も何か新しく楽器に挑戦しようと計画中です。時折、卒業生から近況報告を戴き、個々の道を力強く進む様子に大泉の「自由」から育った「夢」を感じます。大泉高校そしていずみ会の、益々の発展をお祈り致します。

追悼



——略歴——
小島勇作先生
平成18年8月31日没
享年87歳
昭和25年～56年在勤
社会科

昨年8月に亡くなられた小島先生を偲ぶ会が、8期生有志の呼びかけで3月31日に所沢で開催されました。会場の小吃坊には奥様、お嬢様と教え子達30名が集いました。献杯の後には「先生と私」のエピソードが次々と披露されました。「面接試験の予行演習をしてもらった」「母子家庭で進学は無理とあきらめていたら母親を説得してくださった」「気分が悪くなった時家まで送ってくださった」等々で、一人一人が違う物語を持っている事がわかり感動的でした。そこには優秀な生徒を有名大学に入れる事ではなく、問題を抱えた生徒に心を砕いた先生としての確固とした姿勢が浮かび上がり、それが50年を経た今でも慕われている理由のひとつだと思います。

「今の高校では先生と生徒がこんな関係を築くのは無理」という都立高校教師だった人の発言もあり、私たちは良い時代に良い先生と出会えたことを感謝し、会場に飾られていた笑顔のお写真に向かって、校歌と“ふるさと”を歌い散会しました。

高柳 美奈子 (高8期)

昭和46年、伝統ある大泉高校サッカー部に入部した私達は、厳格な清水先生に対し、畏敬の念を感じつつ、その薫陶を受けながら育ちました。練習中に白い歯を見せることは許されませんでしたし、集中力を欠いたプレーには容赦のない叱責が飛びました。そして何よりもスポーツ選手としてのマナーの大切さを教わりました。



——略歴——
清水眞事先生
平成18年10月20日没
享年74歳 昭和39年～平成5年在勤
保健体育

そのおかげで我々は、都立として当時は快挙とも言える都大会3位の結果を残すことができました。そのときのチームメイト達とは今でもプレーをし、杯を酌み交わしながらサッカーを熱く語る事ができます。

至高のスポーツ環境で青春時代を過ごせた事の幸せを、今改めて痛感致します。サッカーの名言に「サッカーは子供を大人にし、大人を紳士にするスポーツである」とあります。「先生、僕達は紳士になれたのでしょうか？」卒業以来抱えているこの切なる問いかけに、「どうかな？」と笑うお顔が儼に浮かびます。

高柳 健治 (高26期)

村上 浩先生

平成18年5月19日没
昭和22年在勤
理科

先生方のご冥福をお祈りします

友 幕 遊

馬上に少年過ぎ
世は平らかにして白髪多し
残軀は天の赦す所
楽しまずして如何せん

伊達政宗「酔余口号」

若き時世には華々しく社会への貢献を成し遂げた企業戦士も、今は現役を退いて、悠々自適の日を送っている。天から賜った身体にも老いの影が忍び寄り、頭も白くなったが、天はこの残軀を赦して下さる筈である。天神に甘える訳ではないが、限られた貴重な時間を楽しく過ごす事こそが後々に大きな悔いを残さない肝心事である。 嶋 正彦(高5期) 麻雀日記より

今 源氏は新しい

源氏物語講座 第4木曜日

源氏物語の面白さ

講師 大軒 史子(高9期)



今年の1月から始まった「源氏物語講座」の第5回(6月28日)は、「紅葉賀」「花宴」巻でした。

例の、中将の君、こなたにて御遊びなどしたまふに、抱き出でてたまつらせたまひて、「皇子たちあまたあれど、そこをのみなむかかるとより明け暮れ見し。されば思ひわたさるるにやあらむ、いとよくこそおほえたれ。いと小さきほどは、みなかくのみあるわざにやあらむ」とて、いみじうつくしと思ひきこえさせたまへり。中将の君、面の色かはる心地して、恐ろしくも、かたじけなくも、うれしくも、あはれにも、かたがたうつろふ心地して、涙落ちぬべし。

(「紅葉賀」巻)

桐壺帝は、藤壺と、わが子源氏との間に生まれた皇子を抱いて、幼い頃は皆似ているなあと慈しむのですが、それを聞く源氏の気持ち、「恐ろしく、もったいなく、嬉しく、いたわしく、心が揺れる」と物語は語ります。

私たちは、既に、二つ前の「若紫」巻で、藤壺との夢のような密通場面を読み、藤壺懐妊の事実をも知らされていますし、桐壺帝がいかにか桐壺更衣を愛したか、亡き更衣の身代わりとして、高貴な姫宮藤壺女御を迎えられ、母の面影を追う源氏にとって、この若き継母はいかに憧れる人であったかも、「桐壺」巻で承知しています。

その結末を語る、上の引用部分は、固唾を呑んで物語を読む私たちの期待に、まさに、十二分に応えた文章と言えます。

現実にはあり得ない「父帝への裏切り」が、源氏物語のテーマの一つですが、もしこんな場面に自分が遭

遇したら(主人公光源氏になったつもり)、確かに、「恐ろしくも、かたじけなくも、うれしくも、あはれにも」以外の言葉では表現できないと思える時、源氏物語は、読む人々にとって、現実となり、この恐ろしくも幸せな物語の続きを、もっともっと読みたくなってくのではないのでしょうか。

読み進むにつれて、作中の人物たちはさまざまな経験をし、時々心に心を述べ、高潮した思ひは和歌に託され、その場面への一つ一つの共感の積み重なりが、源氏物語の面白さと言えるように私は思います。

●この講座は中途から参加しても、途中欠席しても、また仮に遅刻しても流れがよくわかるようにお話いただいております。毎回参加しておられる方には、それによってさらに感性が膨らむようにお話いただいております。このようなお話のされ方は他では例を見ません。

○一度読んでみたいとずっと思っていました。今まで、源氏物語は恋物語、女性遍歴のお話かと思っておりましたが、今ではコレは様々な女性の姿を描く大河ドラマだと思っています。光源氏はその物語を紡いでいく役なのでしょう。

○指名、宿題、テストが無いということで参加しました。皆で声を合わせての原文の朗読は緊張しますが懐かしくもあり、又、先生の「はい、ここはラブシーンです。」との解説に想像も膨らみます。2時間はあっという間に過ぎますが、壮大な源氏の世界を味わう機会に思いがけず出合えたことに感謝しています。

○華やかな別世界を、思いのままに咲いた光源氏も、艶やかさと憂いの人生と思っていました。今、再び講師のユーモアも交えたお話し振りに、目は点に、頭は光景がぐるぐる廻り…急いで本を探し、読み、少し納得!いろいろな恋があるものだなあ!とあらためてステキな講義に出合えて良かったと思ひ、次回も楽しみます。



呑まない・吸わない・賭けない!

健康麻雀教室 第2・4火曜日

いずみ会「健康麻雀」雑感

嶋 正彦(高5期)



「健康麻雀」がスタートして、間も無く一年を迎えます。誠に早い月日の経過に唯々驚かされています。

メンバーもほぼ固定して、若い人はやがて還暦を迎える団塊の世代から、「古稀」を過ぎて尚、老獪にして闊達な人物まで、多彩な顔触れが定例日には姿を見せます。

小生もいつの程にか「古稀」を越え、七十路の王道を噛み締めながら、静かに歩を進めているのです。

「古稀」は、8世紀唐詩最盛期李白とならび称された逸材杜甫が創作した曲江詩の一節「人生七十古來稀」が語源で、漢詩の世界が「白髪三千丈」に代表される様に、表現方法は雄大で、且つ超誇張主義が喜ばれた時代背景を割り引いても、当時は70歳まで生を全うする事が如何に困難であったかを伺い知る事が出来るのです。

そして、杜甫の時代から約600年の歳月が流れ、鎌倉時代末期には「徒然草」が世に出ました。これは、吉田兼好が31年の歳月をかけて断続的に書き綴った随筆で「徒然なるままに日暮らし硯にむかひて」と筆を起す序段の他、種々な思索の随想や見聞等、243段より構成されています。

名文の誉れ高く平安時代に清少納言によって記された「枕草子」と共に、我が国随筆文学の双璧と云われています。

特に、7段では「四十路に足らぬ程にて死なむこそ目安かるべし」と説き、人間は40歳を過ぎると、風貌もさる事ながら、心も共に凄まじく、卑しく変貌してしまうと、警告しているのです。

現代に於いても大きな違いが有るとは、とても考え難いのですが、現実の長寿社会に生きる一人の人間として、40歳を過ぎては全てが醜いと一言で片付けられてしま

っては、それらが誠的に射た人生訓であるだけに隠れ所を失ってしまう思いがしてならないのです。

「徒然草」に教えを受けた40歳も遙か遠い昔の物語になってしまいました。

しかし、杜甫をして稀なる長寿と驚嘆せしめた70歳は今日も何事にも物怖じする事なく、世の中を堂々と元気に闊歩しています。現世でも決して若いとは言えない年齢には違いないのですが、それでもまだ老け込む程ではありません。やがて訪ずれるであろう人生の節目、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、そして白寿を目指し、生涯の旅路を健康に快適に楽しみたいと願っているのです。「健康麻雀」を永遠の友として。

いずみ会「囲碁同好会」

囲碁教室 第3水曜日

スタート!!

田島 寛 (高10期)

昨年の秋、大泉高校文化祭の直前にいずみ会理事会で総務・企画部長の大高氏から、「囲碁の好きな方が集まって、囲碁を楽しみませんか?」という話があり、早速、9月の高校文化祭の時に五面の碁盤を並べてデモンストレーションを行ないました。なんと2日間の文化祭の開催期間中は午前中から五面の碁盤が空く暇なし、小学生から主婦の方まで大賑わい、これはいけるぞとの思いでその場で同好会の会員募集に入りました。また、10月の総会の時にも会員の募集を行い、その結果15名の方が登録され翌月の11月15日・第3水曜日から例会はスタートしました。

毎月、第3水曜日の午後1時から大泉駅前はいずみ会室に集まり、5時くらいまで自称4段の方から一度も碁石を並べたことがないという初心者の方まで、和気藹々楽しんでおります。そして例会が終わった後、駅前の居酒屋でその日の反省も兼ねて生ビールを一杯、これがまた実に楽しいひと時です。毎回7~8名方が、遠くは筑波から12期の相川さんが毎月参加されております。皆さんも一緒に楽しみませんか? 囲碁を楽しみたい方、興味のある方は、世話役の10期の田島寛 (0422-32-6155) までご連絡下さい。

囲碁の楽しみ

村井 和郎 (高6期)

私が小学生の低学年の頃、父は、その友人と家で盤を囲んで碁を楽しんでいました。対局者2人は共にやや緊迫している様な雰囲気があり、傍で騒いでいてはいけなげな気になり、静かに観戦していました。終局した後は、和やかな会話があって、ほっとしていました。その後小学生4年生頃に、父から初めて碁の手解きを受けました。碁に本格的にのめり込んでいったのは、高校・大学時代でした。更に大学を卒業後、会社の囲碁部等で、多くの先輩、友人達と碁を楽しんでいました。

思い出に残る事のひとつは、大阪で在職

中、或る機会があって、関西棋院の若手のプロ棋士と対局させて戴く事が出来、結局は勝てませんでした。その約数ヶ月して関西棋院より初段位を送られました。大阪万博が開催された前年の昭和44年のことでした。

囲碁は、勝ち負けを争う遊戯のひとつであることは、云うまでもない事ですが、対局は常に礼儀が重んじられ、又姿勢も良く、対局者に失礼のない様に心掛けなければならないとされています。

囲碁の楽しみ方には、もうひとつの形があります。毎日購読している新聞の朝刊に掲載されている棋戦、そしてNHKテレビが毎週日曜日午後2時間放映している棋戦を楽しむことです。私達が「碁敵」と対局している囲碁とは違って、プロの最強の棋士が対局する棋戦はその碁に引き込まれたままの時間を過ごすこともあり、楽しいひとときです。今までに多くの方と盤を前に碁を楽しんできましたが、また対局をしたいとの思いが強く感じられるこの頃です。



モデル授業

母校とのコラボ

飛行船授業に協力

二上 貴夫 (高25期)

25期の二上貴夫です。今年の2月にOB会の皆さんに協力いただいて、大泉高校の情報Aモデル授業実施のお手伝いをしましたので報告します。

私は会社で組込みソフトウェア技術担当や営業職などをやってきました。最近では組込みソフトウェアの研究とか、専門職大学院の教員をしています。組込みソフトウェアとは、ケイタイや自動車などに入っているマイクロコンピュータへの動作指示と情報の集まりです。これがあって、カーナビで旅行ができるし、皆さんの着メロも自由に選べるというわけです。(産業統計はないですが、日本は組込みソフトウェアで世界一の生産国だろうと言われています。)高校在学中から模型飛行機が好きでコンピュータの原理であるデジタル回路をいじっていた私は、周りからは趣味と仕事が一貫している稀な人などと言われてきました。実際のところその通りになっています。

さて、情報処理学会というコンピュータや情報を研究する学会があります。この学会の一部で次世代の組込みソフトウェア開発の技術研究が行なわれています。ここで

我々は模型飛行船の自動航行装置を開発してきました。たまたま中等教育専門の先生からの示唆もあって、2005年にこれを転用して中学や高校生向けの情報科学と技術教育プログラムを作ることになったのです。以後、普通科の高校向けのカリキュラムになるような模型飛行船の開発を仲間と進めてきました。それを使って今回、情報専門の田崎先生による情報Aモデル授業が実施されたわけです。情報Aは、現代の高校生がコンピュータや情報科学の基礎を学ぶための必修教科です。



田崎先生の飛行船授業では、生徒は最初に飛行船を制御するための概念として情報量と符号化の基礎を学びます。次に、飛行船が持つ上昇や旋回など8種類の制御指令を満たす制御符号を生徒が自ら設計します。この設計した符号を飛行船に送る仕組みとして超音波と無線技術を使っています。生徒は、2本の金属スプーンを叩くことで超音波の符号列を発生させることができます。そして設計した符号列どおりにスプーンを叩くと、飛行船が上昇、旋回、前進などの飛行をするわけです。授業の途中には、生徒が設計した符号をパソコンの画面で模擬飛行させることもやっています。授業の構成は田崎先生の考案です。飛行船は、まだ実験段階なので設計者として私が技術支援をしたわけです。嬉しいことに、他校の先生、25期の城さん、OB会先輩のみなさん、そして25期がお世話になった江平先生にも授業を参観していただきました。「相変わらず二上らしいことやってるな」と言われて嬉しい限りでした。大泉が情報科学教育のパイオニアとなったことは素晴らしいことです。

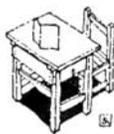
インターネットから更に詳細情報が入手できます。キーワードは“マジカルスプーン”と“飛行船”です。

<http://www.kumikomine.net/article/report/2007/04mags/01.html>

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110005717532/>



同期会だより



高15期 古稀を目指して!

速水 洋志

平成16年に「還暦を迎えて」として、大々的にお祝いをしてから2年が過ぎて、恒例の同期会を平成18年11月4日(土)、私学会館アルカディア市ヶ谷において行いました。連休の中日ということで、参加者は例年よりやや少なかったものの、盛り上がりは今まで以上でした。

常連の堤先生、小川先生が所用のため欠席されたのは寂しかったものの、開催宣言に続き、今回ご出席いただいた甲賀先生、山谷先生の懐かしい思い出話に始まり、恒例のクラス別記念写真と初参加者の近況報告があり、今回の目玉、「ビンゴゲーム」に突入しました。

今回のビンゴゲームの賞品のほとんどが単純な購入品ではなく、仲間が普段活動している成果を中心にしました。

結構売れている著作本をはじめとして、陶芸品、絵葉書、ケーキセット、棚田米、コンサートチケット、海外旅行土産等々みんなの活躍の様子が見て取れるような賞品の連続で大騒ぎとなりました。

その後、ダンスパーティー、校歌、校友の歌と続き、全員の集合写真で締めくくりました。2年後の再会を約しながらも、ほとんどの人たちが、二次会、三次会へとなだれ込んだのは云うまでもありません。

8年後の「古稀の祝い」にも誰一人欠けることなく・・・を祈った次第です。



高9期 それぞれの日々

立松 修治

平成4年の第1回同期会から、3年毎に開催している第7回9期同期会が、6月2日(土)霞が関ビル33階の東海倶楽部“望星の間”で開催された。

今年は卒業50周年に当たるので、今までとは違った内容の会にしたい、と齋藤正一幹事長の元に13名の幹事が集い考えを持ち寄った。会員が来年喜寿を迎えるので、定年後どの様な目標を持って生活し活動して

いるかを知ることができる「展示コーナー」を設けました。会員からは、著作、書、模型、俳画、陶器、写真(記録、能、山岳等)、パッチワーク、油絵、それにNPO法人日本ネパール協会の活動記録等が集まり展示されました。これらの展示は、会員が今後生活するヒントとして大変役に立つものばかりでした。

また「福引き大会」を呼びかけたところ、沢山の高価な寄贈品が集まりました。

この2大イベントは、今までに無かった試みで、103名の会員が出席しました。午後4時からの2時間は、あっという間に過ぎてしまいましたが、唯一残念だったのは高齢となった恩師の方々の出席が少なかったことです。

それでも高橋茂先生をはじめ、病を押して三戸孝先生、堤治美先生の3名が出席して下さいました。



高10期 ますます意気軒昂

田所 満一

平成18年11月11日、市ヶ谷にあります私学会館アルカディア市ヶ谷に於いて、2年ぶりの同期会を催しました。以前は3年毎に開いていた同期会も、皆さん還暦を過ぎてからはますます意気軒昂たるものがあるのか、はたまた先を急ぐのか、3年毎では遅すぎる! 2年毎にすべし! というわけでここ数回は2年毎の同期会開催となっています。

卒業以来48年ぶり初めて参加したという不埒な者(?)も居れば、遠くはベルリンから近くは仙台から駆けつけたと予想以上の参加者を迎えることが出来ました。

乾杯の音頭の後には「本日の主賓は参加者の皆様です」を合言葉に談笑が始まりました。数学の宇高先生、化学の中山先生、そして体育というよりサッカーの永嶋先生をお迎えできて、話は48年前にさかのぼります。容貌だけははるかに師を越えた者もいて、今ではどちらが師だか弟だか分からない程に溶け込みました。まさに師友手を取り日に学んだ青春の日々に思いは飛んで、晩秋の楽しみ一日は過ぎて行きました。

次は平成20年秋の開催を予定していません。卒業50周年に当たりますので、更なる盛り上がった会にしたいと願っています。



高11期 語りと踊りの世界

加藤 勇

平成元年に始まったカルチャートーク(同期の仲間の話を聞く会)は、先月第26回を終え、期の会報も31号となりました。

昨年11月16日練馬区関町区民センターで開催された第25回カルチャートークは、初めて舞台で行なったもので、大変印象に残るものでした。

光と音の整備された会場で、秋山京子さんの「語りの世界」と村井千枝さんの「踊りの世界」が行なわれました。語りは、樋口一葉作「大つごもり」で、踊りは、村井さんのソロで新作舞踊「野末」でした。

原文のままの難しい表現も秋山さんの語りですっと頭に入るとの感想があり、又柔軟な村井さんの踊りは体が語りかけてくれるようでした。お二人ともこの世界では一流の人で、このような機会にすばらしい演技が見られて、参加者は感激していました。詳細は11期会報の31号にありますので、どうしてもご覧になりたい方は、ご一報ください。会報のコピーをお送りします。

去る6月8日には、地元石神井公園の散策を楽しみ、カメラに関する話を聞く会が開かれました。谷原の長命寺の客殿で昼食とトーク、その後石神井川を遡行して三宝寺池のほとりを歩いて、三宝寺を見学しました。この日の参加者が撮影した写真は、次号会報に発表されることになっています。

来る10月20日(土)には、同期会を開催する予定です。



OB・OG会



アンサンブル大泉2007

檀瀬和子 (高36期)

吹奏楽部OB・OG有志による「アンサンブル大泉2007」(アンサンブルコンサート)を2月18日(日)に保谷のこもれび小ホールで行ないました。OB・OGによる大編成のサマーコンサートは毎年恒例でもう20年以上続いています。アンサンブル形式は今回で7回目で主に2月に行なっています。アンサンブルはグループごとに別々に練習をしているので他の団体がどのような演奏をするのか当日非常に楽しみです。

今年は7団体、約30人で年齢の幅も30才以上、また新潟や奈良からの参加もありました。朝からの雨も開演時には上がり、サクソ四重奏、金管五重奏、2人のバロックアンサンブルから11人のクラリネットアンサンブル、なじみのある曲、この日の為に作曲された曲など様々な編成で披露され、あつという間の2時間でした。会場の準備やチャリシ、プログラムの用意も全て自分たちでやらなければならないので苦労もありますが、それ以上に卒業してからもこうして仲間と演奏できるのを貴重な事と感じています。

この日、終演後は大泉の居酒屋で夜遅くまで酒を酌み交わしました。来年も2月5日に大泉の「ゆめりあホール」で開催の予定です。



碁泉会 高9期囲碁同好会

高木博明 (高9期)

この碁会を始めた当時、現在のように時には四つの盤を囲んで余りあるほどの同好の士が集まって碁を楽しんでいる姿を想像することはとてもできませんでした。この碁会のきっかけは、今から3年以上前に大軒(大森)史子さんが小生に碁を教えてくださいとあって練馬区立労働福祉会館で細々と二人で始めたことにあります。当時彼女はまだ初級者であったので、家で並べ直すと強くなるからといって、小生が毎局棋譜を取ることに始めましたが、彼女が熱心に同好者を集めた結果、今では冒頭のような盛況を呈するようになり、いずみ会室も手

狭に感ずるようになりました。会の名称も「碁泉会」と名づけ、時には飲み会、合宿等も行なっています。

例会は毎月第2、第4水曜日の午後12時過ぎから4時頃までいずみ会室で行なっています。常時集まるのは6~7人ですが、今までに十数名の同期生が訪れています。

メンバーは有段者は2名ですが、初段に近い人が4~5名おり、互いに鍛えあっている。他流試合をすれば、有段クラスとして十分通じるといいます。現在のところ、女性の参加者が少ないのが残念です。興味のある方は是非いずみ会室を覗いてみてください。



助教同窓会

小林知雄 (高16期)

母校の臨海学校に助教として参加した同窓生91名が、平成19年1月13日(土)に新宿YS情報ビルに集り同窓会を開催しました。きっかけは2005年のいずみ会60周年記念式典のとき、助教でもあった杉山武彦氏(一橋大学長・高15期)の来賓挨拶もあったため、元助教のメンバーも多く出席し親交を暖めあった際、誰ともなくあがった「助教同窓会を開こう」!

臨海学校は昭和38年より平成5年まで、おもに内房の富浦(民宿光崎)で高校1年生全員を対象に3泊4日で実施され、助教(遊泳技術向上の手助けをする要員)として参加した卒業生は10期から45期まで約370名になります。今回の同窓会には、14期から42期の91名の元助教の仲間たちと体育科の旧職員2名の先生方とが久しぶりに集い臨海学校の思い出を肴に大いに盛り上がりました。

助教は、参加回数数十回のベテラン(畏敬の念をこめて「ロートル」と呼ばれていました)から、大学に入学したばかりの新人(初年兵とよばれていました)まで、幅広い年齢とさまざまな個性と能力のある持ち主たちで構成された一種の異能集団でした。その強烈な印象と魅力があるから、あの時から数十年経った今でも、これだけ多くの皆さんに集まって戴けたのだと思います。

思い出話に盛り上がり、あつという間の2時間。「水着姿でないで誰だか思い出せない」「次回は富浦で会を開いては」といった声も上がる中、次回の会を熱望しながら名残惜しくも閉会しました。



一面人材バンク「私のいずみ会」活動についてのご意見、お申し込み、世話役、他、お問い合わせは同封のハガキに記入して返信するか、下記までお願いいたします。

e-Mail izumikai@v7.com

Tel/Fax 03-3992-5529

企画総務部長 大高光蔵 (高13期)

会員訃報 (敬称略)

心よりご冥福をお祈りします。

中2期	伊藤 清美	平成18年7月14日
中2期	立川 稔	平成18年5月21日
高2期	菊地 誠一	
高2期	山我 茂夫	平成18年12月
高3期	上原章三郎	平成18年4月1日
高3期	川口 利夫	平成18年6月5日
高4期	新井 秀幸	平成18年8月26日
高4期	大澤 康邦	平成19年2月11日
高4期	松村 邦雄	平成18年12月25日
高5期	井口 勇	平成19年4月19日
高5期	小林利喜太郎	平成12年7月8日
高5期	三須 武	平成18年6月4日
高6期	秋山 直照	平成18年5月17日
高7期	布瀬 正親	平成18年6月25日
高7期	堀越 義規	平成17年12月28日
高7期	矢萩 元	平成18年7月20日
高8期	前田 実	平成16年9月21日
高9期	岡安 勝昭	平成18年11月26日
高9期	前迫 三和	平成18年9月14日
高10期	高橋 俊夫	平成18年7月12日
高10期	大塚 洋一	平成18年4月
高10期	羽根田達治	平成19年4月20日
高12期	中塚 武雄	平成17年11月15日
高13期	西村 功	平成19年4月5日
高13期	後藤 翠	平成18年7月28日
高13期	笹沼 正典	平成19年2月8日
高15期	平山 宏	平成17年10日
高15期	田中 武	平成15年
高18期	中崎 展男	平成19年3月4日
高19期	岡沢 修一	平成18年8月3日
高20期	讚井 正光	平成19年5月
高21期	笹田 一	平成18年4月21日
高23期	関川 裕	平成18年6月13日
高23期	辻村 康子	平成17年8月30日
高27期	飯島 貴代	平成19年6月27日
高31期	浦野 里佳	平成14年8月16日
高41期	小林 信雄	平成11年1月20日

10月28日(日) いずみ会総会・懇親会のご案内

(会場の都合により日程変更となりました)

「楽しさ7倍 7の会」

今年は2007年に因んで卒業期に7がつく期が懇親会の企画・運営を担当します。

今年の懇親会は、みんなで楽しく唄いましょう！

美味しい料理と飲み物、そして語りましょう！

と き 平成19年10月28日(日)

ところ 練馬区立勤労福祉会館

出席者受付開始 13時30分～ 定時総会14～15時

★懇親会★

開会 15時30分(開場 15時15分) 閉会 17時30分

会 費 3,000円(54～59期 1,000円)

ご出欠(その他ご連絡)は、同封のはがきで10月15日までにご返送ください。

いずみ会会長 石井 岱三(高6期)

新7の会会長 山田 清子(高7期)



総務企画部からのお知らせ

- いずみ会の仕事を手伝ってください。
いずみ会では、1週間に1～2日、1日に2～3時間、いずみ会に顔を出して郵便物の整理や会員からの住所変更通知、払込会費の処理等を手伝ってくださる会員を探しています。
- 幹事の皆様、お手伝いします。
①校歌、校友の歌のテープをお貸しします。
②名札ケースをお貸しします。
③会員名簿の住所シールを差し上げます。
④Webページに同期会等の案内を掲載します。
- いずみ会会報に各期が制作したA4のチラシを無料・同封します。
- いずみ会室をご利用ください
申込の詳細はWebページをご覧ください。
担当：理事・村井 和郎(高6期)
TEL/FAX：03-3922-8888
- いずみ会文庫
①あなたの本を母校に寄贈してください。
自著、共著、雑誌、講義用の教科書、エッセイ、体験記、写真集など。
母校図書室にビニール包装のうえ、寄贈者名を入れて大切に保管されます。
- 卒業アルバムを寄贈してください。(歯抜けになっております)
担当：幹事・市川 敬二(高13期)
〒176-0005 練馬区旭丘1-48-4
TEL/FAX：03-3950-3705
- 各期・評議員の確認
評議員会はいずみ会で唯一つの議決機関です。現在700名弱の評議員がおりますが、半数の方の連絡がありません。各期において、評議員であること意思の確認をお願いします。

★「いずみ会」連絡窓口(ご意見・ご感想・住所変更・その他、下記へご連絡願います)

〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30
SKビル305号

e-Mail: izumikai@v7.com

FAX: 03-3925-1486

担当：理事：総務企画部長・大高光蔵(高13期)、国谷俊之(高14期)、竹林悦子(高27期)

Webページ 担当からのお知らせ

• URLの変更

今までのサーバーが手狭になり、今後の掲載内容の充実化へ不安がありますので、2007年8月15日よりWebページサーバーを移転しました。

旧URL <http://www.izumikai.net>

新URL <http://www.izumikai.com>

お手元のパソコンのブラウザの「お気に入り」あるいは「ブックマーク」の再登録をお願いします。

• 会報のバックナンバーの掲載

昨年まで5回分のバックナンバーを掲載していましたが、ほかにも掲載すべき情報が増えてまいりましたので、バックナンバーを削除してまいりました。容量の増加により、削除していた会報のバックナンバーの掲載を順次復活していきます。

これで、いつでもどこでもだれもが会報のバックナンバーを読むことができます。

• イベント情報の掲載

現在、会員の方々が各方面で活躍されています。その活動のうち、絵画等の展示会や、演劇/演奏活動等の情報を掲載したいと思えます。

いずみ会の会員で、これらの活動に参加

されている場合は、適当な用紙に必要な事項を記入し、イベント告知用の葉書あるいはチラシ等を添えてお送りください。掲載の可否を検討させていただきます。

詳細はご相談させていただきますので、先ずご連絡ください。

掲載はWebページ内「イベント情報」です。

Webページ担当：村上 広(高15期)

e-Mail: prairie@mbh.nifty.com

TEL: 080-1075-8766

編集後記

昨年は記念号ということでカラーページを作りましたが、経費の関係もありページ数も含めて元に戻しました。ただ、文字が小さくて読みにくいという苦情も寄せられていますので、来年度は全体的に検討してゆきたいと考えています。ご意見などが有りましたら、下記広報担当にお寄せ下さい。

なお、長年にわたりこの会報の印刷を担当されていた「一光印刷所」の篠匡昭氏(高6期)が仕事をお止めになる意向ということで、今年から印刷所が変わりました。「一光印刷所」には代々の広報部(会報部)や、会員情報部(名簿部)が名簿を発行する時にも、突然の変更や原稿の遅れなどで無理難題を申し上げても、快く応じて下さり大変お世話になりました。此処に代表して感謝の言葉と、篠匡昭氏のこれからのご健勝をお祈りさせて頂きたいと思えます。

今年度は、広報部の編集委員を長年担当してきた森田陸四郎氏(高15期)が所属する第一プランニングセンターに会報制作および印刷を依頼しました。

広報部 須藤 一彦(高9期)

e-Mail: k-sudou@m-s-t.co.jp

TEL: 03-3951-9532

FAX: 03-3951-9351

会費納入者一覧

(敬称略・平成18年度納入分)

昨年度も多くの皆様と同窓会費及びご寄付を頂き、有難う御座いました。今年度も宜しくお願い致します。今回、お名前を掲載しましたのは、平成18年4月1日から平成19年3月31日までに会費・寄付をお振込み頂いた方々です。掲載要領は次の順序です。(単位千円)

- ①お名前
 - ②会費納入額(終身会費納入の方は「終」と表示)
 - ③寄付金額(終身会費を超えた金額は寄付として取り扱わせて頂きました)
- なお会費納入のきまりは
- ①高校卒業後10年を経過した年度から、満70歳を迎える年までです(今年は49期の方から70歳の方までが会費納入対象者です)。対象外の方の納入は前納または寄付として受領します。年会費は千円です。過去の未納会費へは遡及しません。今年度分から頂きます。
 - ②ご質問・ご意見がありましたら、次の担当までご連絡下さい。

会計部長：杉山 肇 (高6期)
 Tel : 042-773-3520
 Fax : 042-773-3037
 E-Mail : h_sugi@bolero.plala.or.jp

教職員他	千田勇司	10	高 2
教職員他	足立 猛	3	
教職員他	恒松 明	10	
教職員他	稲村 啓	5	
教職員他	清水靖夫	5	
教職員他	間瀬正次	10	
教職員他	高良 進	7	
教職員他	荒井徹夫	5	高 3
教職員他	小川陽弘	1	
教職員他	小林校長	10	
	勝田一彦	5	
	長谷川浩吉	5	
	越部久仁男	10	
	鈴木勝治	10	
	浜田安子	3	
	須賀 功	5	高 4
	杉浦雄治	7	
	高柳邦夫	3	
	浅見文夫	1	
	竹田節男	1	
	小野寺正臣	3	
	中久保良雄	2	
	岡本橙子	2	
	樋田並照	1	
	瀬田春生	2	
	本村禮二	10	
	田原正顕	1	
	塚田圭一	2	
	比嘉 高	5	
	比嘉 高	3	
	比嘉裕子	3	
	三橋昭男	2	
	諸井敷治	3	
	秋本 忠	7	
	安井 昇	1	
	静 稔	10	
	大澤 登	1	高 5
	大澤 登	1	
	藤森尚和	2	
	林崎 裕	5	
	涛川欣一	1	
	松岡五郎	3	

小倉昭子	1	細田伸治	7
田中房代	2	淵之上徳郎	終
大橋陽子	1	矢島瑛之	終
榊原京子	30	淵之上和子	終
伊原礼子	2	市木健一郎	1
		浦尾亮一	終
		前迫三和	1
		矢島栄市	終
		和田鷹男	終
		田川初子	終
		袖原美智子	1
		宇田川淳一	終
		篠崎 勝	2
		吉田仁彦	1
		大軒史子	2
		矢島京子	終
		齋藤正一	3
		染谷寿子	10
		桑原富貴子	終 3
		一沢昭子	終
		天野昌紀	終
		菊地一代	終
		藤沢水浜	終
		佐藤 勝	5
		調子省三	終 1
		菅家正江	終
		越智宣子	1
		宇佐美誠	終 1
		大谷義彦	1
		金沢健蔵	2
		本橋達朗	10
		太田路子	終 1
		宇山捷利	終
		木村良子	1
		西島耀子	2
		鈴置礼子	終 6
		加藤秀子	終
		根本知子	終
		大田久子	終
		片山典子	終
		KUHNS敦子	1
		関 操子	終
		関根琢磨	終
		羽田圓城	終
		若林とみ子	終
		吉田栄子	終
		大沢建吾	1
		勝田辰己	終
		宮本雄二	終
		佐々木佳郎	終
		岡山一郎	4
		浅野栄子	終
		柴田節子	終
		反町伸子	終
		長谷川悦子	終
		小城光章	終
		北岡 博	終
		関根強一	終
		根本幸次	終
		沢田照男	2
		上村享子	終 4
		熊谷憲一	1
		山田保子	1
		奥原研二	終
		沢田嗣郎	2
		柳原 勇	2
		岸塚正昭	終 6
		寺岡雅子	1
		石井道子	終
		今出百合子	2

高 13

荻上寿美子	終 1
土川ツヤ子	1
青木泰男	終
嶋田 叡	1
長井 功	終 3
平野忠雄	1
福市 靖	終
松園 格	10
田中昇次	3
中本 攻	15
橋本 南	1
林 正道	5
水谷禎夫	3
荒井正昭	終 10
小松富貴子	終 1
国澤栄子	終 3
間 迪也	2
杉浦和子	2
風祭一枝	終 3
秋本明子	終
小浜佐紀子	終
竹之内勝利	終
森沢武彦	終
渡辺昌克	1
片山満理子	終
酒井政子	終 3
早津澄子	終
斎藤 洋	終 3
戸田一誠	3
中田捷子	終
土屋宏子	終
大井上晶子	終

高 14

杉山博司	5
水口哲子	終
久保美恵子	終 2
梶原典子	終
角地令子	終
山本直子	終
長野敏一	終 2
福田暉男	終
吉井琢治	1
岩崎 徹	終
安田 務	終
大山朝子	終 2
小林美代子	終
高木登茂子	10
二見多鶴子	5
市村悦子	1
國谷俊之	5
山瑞昌代	終 1
吉津弘一	終 2
小西義之	7
合田義治	終
梅崎洋子	2
野田為久	5
畑隆一郎	終
沖山公六	3
越阪部稔	終
竹本泰則	終 2
光 正克	7
三森友直	終 2
内田阿紀子	終 2
添田禮子	終

高 15

小川伸之	終
寺井 功	8 2
三好静子	終 1
青山 晃	1
奥本久治	10
根津初子	終 1
石川靖之	終

宮田紀子	5
石川慶子	終
渡辺正信	終
岡村静枝	終
桑名晏子	3
後藤乃婦子	10
萩原恵子	2
大崎幸子	終 4
加藤富士江	終 1
伊藤いづみ	終 1
岡崎千代子	2
川崎 博	5 5
萩原 章	終
桑野眞暉子	終
小原慎一郎	終
申 道昭	10
中村貞子	終
藤谷秀紀	終
市川スミ子	終
柳瀬正敏	終
花田里子	終 1
小鮎光平	終
丸山俊章	終
須釜節子	終
石川悠子	1
大場修一	6
金尾裕文	終
東 千恵	終
小林和恵	5
横川武彦	終
尾池 幸	2

高 16

柳瀬正敏	終
花田里子	終 1
小鮎光平	終
丸山俊章	終
須釜節子	終
石川悠子	1
大場修一	6
金尾裕文	終
東 千恵	終
小林和恵	5
横川武彦	終
尾池 幸	2

高 17

橋原晴二	5
筒井由紀子	終
田中襄一	終
泉 由紀	終
間 浩明	5
村瀬正美	1
篠原和雄	6
平田三佐子	終 4
正井雪子	3
成田俊彦	1
山辺百代	終 8

高 18

重政純子	終
高久進	終
大山恭子	終
飯島澄枝	終 8
大藤聡子	5
加藤葉子	終 4
渡部典子	5
松田登紀子	1 3
大川和彦	終
丸山淳子	2
松田由紀子	2
兼松光子	終
中尾 宏	終
佐々木しげ子	10
南 和子	5
蓮沼 都	2
有川弘子	2
山田暁子	1
上野圭一	2
佐藤牧夫	終
加藤俊一	5
細井 謙	終
狩野哲夫	1
林 敏安	終

高 19

平間保枝	1
松林良子	3

高 20

依田武男	5
浅沼啓子	1
吉田洋子	1
荒井真理子	1
伊東正裕	終
藤井律子	1
神戸和子	1
長沢きみ江	5
源 恭子	終
比地原正子	5
大川 薫	1
小池由紀夫	終 3
曾我和廣	3
松岡正明	終
佐藤陽子	終
菅野啓子	5
佐々木公子	終 3
松永謙治	終
吉村健一	終
大坂延子	3
田中克子	1
藤本万里	1
小山田香子	5
小林憲一	1
高橋 寛	終
登坂 薫	1
豊野 勉	終
山口達夫	2
山下道雄	10
金子研一	2
乃美和夫	5
石原正美	終 6
田中憲太郎	1
小田長馬	終
藤本 均	1
島根明子	5

高 21

植村 久	3
廣井真紀子	5
上田 實	終
相沢真知子	終
青木真理子	5
土田澄重	3
奥野 順	5
松本いずみ	3
白川知多	5
徳山幸子	終
長田宣治	1
大塚あけみ	5
曾我里美	3
内田知子	5
朝倉素雄	終
小山 徹	1 1
築根照英	4
本橋 豊	1
松岡耕二	終
石井逸子	終 1

薄井秀樹 5
中澤裕之 終
中島純夫 終
露木 薫 終

高 22

高橋健一 1
安田和久 終
坂梨俊彦 15
木村和美 終
神田幸人 5
原 隆弘 3
吉野 隆 終
宮森貴美代 1
渡辺哲伸 1
三宅良明 10

高 23

寺沢亜志也 3
福原由雄 7
瀧田芳孝 4
山越 亘 5
嶋田英子 5
片桐 健 1
小林安夫 5
渡辺信夫 終
小林秀典 1
友岡和彦 5
野村由紀子 10
木下直美 終
矢部政子 3
齊藤高子 1
中村 正 1

高 24

鈴木 修 5
堀口真知子 5
秋山祐子 4
小林健治 1
真柳 仁 3
木本芳夫 1
塩崎雅一 10
黒木徑子 5
高良 聖 5
石坂和香 1
水越千恵子 5
玉利恭子 1
飯田和子 5

尼崎清剛 2
石原信和 1
新田啓子 終 5
遠藤淑恵 3
安田容子 1
沢田直彦 7
北詰 泉 5

高 25

中川 隆 10
佐倉弘持 3
高木英守 2
土井悦郎 7
内藤健吉 10
中村武義 7
升本喜夫 5
吉富正尚 終 2
功刀純子 5
川島貴子 5
山田由姫 5
原 節子 5
宮川修作 5
山崎あゆみ 5
田中ひろ子 10
風巻清英 1
市川直子 5
石上敦子 5
内村賢一郎 5
東郷良英 10
阿部信枝 5
塚本美貴枝 5
山口恵美子 終

高 26

高木佳辰 7
伊藤信行 5
稲口真正則 5
大神田庄一 5
山本 晃 2
都丸悦孝 1
加藤勝信 1
和保恵子 5
寺村喜江 1
平野弘道 1
木村武彦 5
世良田あゆみ 5

高 29

佐藤則忠
佐藤雄次
清水邦男
清水真一
竹内章祐
林 潤
松本 要
吉田 稔

高 27

清水宏紀 3
東 晃夫 5
藤井慎一 3
伊藤由美 1
岩間浩一 5
久下 亨 1
大久保高秀 5
宮館 靖 1
沢谷繁幸 5
矢代吉男 5
片桐靖子 1
堀越隆吉 5
相原裕美 10
印南明彦 1
神山正行 5
松浦嗣人 1
岩森直美 10
竹林悦子 終
柴田真弓 2

高 28

安藤雅生 3
榎枝計人 4
城口直人 1
城口直人 3
林 靖人 10
藤本義典 3
宮井修二 7
内田康之 2
亀田政弘 1
山田嘉彰 5
鶴田斉子 終
水野淑子 1
松岡桂子 3
渡辺伊豆美 終
大羽康弘 1
清水義裕 2
伊能圭子 1
妹尾洋子 5
越原理恵 5
田中文子 5
御田基子 5

高 29

加藤健次 1
吉岡幹夫 1
吉野文雄
宮崎信吾
北村直子
横川喜三子
浅野稠子
木村賀久子
三浦まき
堤美穂子
相川靖志
青木元也
荒井重信
池谷 健
井上修平
岩田 陳
榎戸尚雄
岡本正義
岡本 格
加藤文男
北沢 寛
竹田昭平
野口純正
藤本 誠
松下彰夫
松本 良
村野洋司
茂木光男
伊吹早苗
岩崎陽子

前岡正憲 3
天沼邦彦 2
野田由男 3
外記直幸 2
谷嶋牧夫 2
梅田利枝 3
吉川久美子 10
鈴木伸司 2
蟹江慶子 1
隠岐京子 1
松田明子 1
石井秀樹 3
長谷川政光 1
大久保靖 2
川辺洋二 1
池田優子 3
大久保小舟 1
塩澤朋美 終
杉森雅之 5
杉山正樹 1
尾首容子 1
辻 恭子 10
田中秀美 3

高 30

神谷昇太 5
大坪由佳 1
赤坂幸代子 10
東 正太 1
高島 朗 1
滝沢清児 7
熊谷直子 5
熊沢有子 1
熊沢有子 2
片桐俊明 5
船津 毅 3
大島寛治 3
小山昭子 1

高 31

尾崎 一 1
小田浩二 2
竹中文子 1
塩田容子 1
矢崎千枝 1
新井鏡子 1
玉虫葉子 1
高田淳子 10

高 32

佐々木道人 1
井野 悟 1
大川 洋 1
高崎聖一 1
岡関佳代 2
片岡直樹 3
仲沢浩一 3
小林美恵子 3
久池井幸子 1
藤倉彰夫 5
小川京子 1
福原紅実 2
福原紅実 2
寺田 勉 2
数見佳子 1
小曾根達悦 5
本田幸彦 3
伊藤由香里 1
木村智寿 1
堀 素史 7
松田 博 2
木村伸子 1
藤江慶一郎 終
宮子あずさ 終
飯口 緑 終
近藤直子 5
近藤直子 5
堀田雅己 3
伊藤佳子 2

高瀬雅美 5
田中綾子 終
齊ノみずほ 2
越原由香 5
長谷川ひろみ 1
野村麻里 終

高 33

佐々木道人 1
井野 悟 1
大川 洋 1
高崎聖一 1
岡関佳代 2
片岡直樹 3
仲沢浩一 3
小林美恵子 3
久池井幸子 1
藤倉彰夫 5
小川京子 1
福原紅実 2
福原紅実 2
寺田 勉 2
数見佳子 1
小曾根達悦 5
本田幸彦 3
伊藤由香里 1

高 34

木村智寿 1
堀 素史 7
松田 博 2
木村伸子 1
藤江慶一郎 終
宮子あずさ 終
飯口 緑 終
近藤直子 5
近藤直子 5
堀田雅己 3
伊藤佳子 2

高 35

盛 弘之 5
宮下 朗 5
立澤由貴恵 10
小原一晃 3
瀬谷賢一 1
深谷珠美
新井たか子
富安瑠璃
伊藤康孝
上田哲夫
岡田 暁
片山 隆
小原坂満邦
小林 力
高雄俊二
田中生男
田中冬樹
中沢弘生
中塚厚生
横田 惇
吉村昌也
頼末精一
和田正美
金子和子
野沢決子
江口華子
福田京子
二宮靖子
小川洋子
川西蓉子
小林澄子
小西悦子
甲山玲子
大島典子

佐藤千秋 5
馬場靖代 1
鈴木啓順 1

高 36

大石真木 2
関矢真理子 1
熊谷直人 5
佐藤直子 1
池永雅子 終
大久保教夫 17
鈴木秀和 2
二階堂健 3

高 37

平林直子 1
齊藤千景 3
大島佳子 5
市川純子 終
森谷 修 1
森谷 修 1
片桐慎一郎 5
熊谷 淳 1
進藤敬子 5
木村 亨 5

高 39

小曾根史代 5
長谷川あずさ 5
毛利伸介 10
渡辺佳代子 5

高 40

飯塚賢一 10
坂口 緑 終
須藤陽子 2
高柳幸一 10
熊崎義紀 2
後藤辰男 1

高 41

松浦徳郎 10
小沢梅樹 終
湯口真紀 5
坪内洋輔 5
山田 哲 3

高 42

長岡聡子 1
藤田夏代子 1
石田律子 10
尾田一郎 2
山内 真 10
吉松 泉 10
佐藤公則 1

高 43

大石亜希子 2
嘉永 領 2
岩田ひろみ 終

高 44

堀越元紀 5
石川香織 1
中津留勉 1
土田久美子 2

高 45

山口恵里 1
北口美穂 3
浅沼太郎 5
木戸貴光 5
宮本綾美 1

高 46

斧 達也 1
前田由里香 1

高 47

辻川浩史 1
内田麻衣子 7
伊藤 愛 3
大林岳史 10
小林弘明 1
小柏 匠 10
平野俊也 1
久世濃子 3

高 48

中村咲子 3
竹村菜津子 1

高 59

榊原昌人 5

終身会費納入者一覧

(敬称略)

終身会費を納めたはずだが、会報の「会費納入者一覧」には名前が掲載されていないとの問合せがあります。今年度満70歳に達する人(高校8期)以降の方で、平成19年3月31日現在、既に終身会費を納付頂いた方のお名前を掲載しました。

今年度評議員会では、今年度のいずみ会収支の赤字予算を厳しく追及されました。いずみ会の赤字財政を健全化するために、今後とも寄付でのご支援下さい。

高 8

新井正晴
岡崎最遊
伊藤昭三
加々尾一弘
横山光磨
酒井康彦

佐藤則忠
佐藤雄次
清水邦男
清水真一
竹内章祐
林 潤
松本 要
吉田 稔

鹿兒嶋栄子
久保とし恵
島村敏子
松田瑛子
岩佐光世
三好恵美子
吉田佐和子
宇塚祐三
亀崎正夫
久郷幸太郎
鴻巣英治
島田道夫
関口忠男
高橋 律
稗田 馨
平松俊昭
藤野八郎
三浦俊久
水谷尚志
宮下元也
吉原忠雄
今井洋子
関口光世
藤田つる
小西悦子
小林澄子
甲山玲子
大島典子

栗原美津江
吉田雅子
伊伏弥太郎
加藤 勝
岸崎隆生
栗田政夫
小山和勇
澤田あきら
鈴木通夫
安田凱昭
那須野恭一
広瀬 彰
深沢 均
福井健治
伯耆原功
山谷敬之
東久美子
小味山和子
中川倫子
新実雅子
沼沢美代子
関口恒子
貝森啓子
筒井カヨ子
宇田川公子
大久保くに
武山誠子
六笠元子

栗原美津江
吉田雅子
伊伏弥太郎
加藤 勝
岸崎隆生
栗田政夫
小山和勇
澤田あきら
鈴木通夫
安田凱昭
那須野恭一
広瀬 彰
深沢 均
福井健治
伯耆原功
山谷敬之
東久美子
小味山和子
中川倫子
新実雅子
沼沢美代子
関口恒子
貝森啓子
筒井カヨ子
宇田川公子
大久保くに
武山誠子
六笠元子

栗原美津江
吉田雅子
伊伏弥太郎
加藤 勝
岸崎隆生
栗田政夫
小山和勇
澤田あきら
鈴木通夫
安田凱昭
那須野恭一
広瀬 彰
深沢 均
福井健治
伯耆原功
山谷敬之
東久美子
小味山和子
中川倫子
新実雅子
沼沢美代子
関口恒子
貝森啓子
筒井カヨ子
宇田川公子
大久保くに
武山誠子
六笠元子

柴田欣男
菅野哲哉
関口武司
曾我部英男
中山 堯
豊島松夫
早崎 覺
久内 治
舟橋 徹
松浦 淳
山本領紀
岡崎美代子
関根佳江
戸井田和美
原田恭子
宮本玲子
桑原明子
川村スズエ
前田 実
内田喜美江
下 千恵
後藤圭子
折田日出子
早川操子
角田富美代
光田美恵子
柴田成子
大沢孝枝

藤井勝子
加瀬照代
橋本玲子
桜井淑子
野口瑛子
江藤邦江
石原節子
半藤精子
小熊和子
田畑智恵子

高 9

大城龍昭
加登川昭夫
早乙女直樹
莊 正
須藤一彦
築根和男
古谷卓造
水野慶之
矢鳥駿一郎
鈴木幸子
西山玄子
平田佐和子
桂原洋子
国武道子
石島香代子
村田久子
篠崎優子
永田美智子
遠藤和子
山田祥子
今牧美智恵
古沢聡子
浅見正義
伊倉誠一
井上英明
大坪 卓
小川忠夫
小島 武
丹下 多
原 脩
細川真澄男
松井公行
山口弘二
若井悦子
武井久子
新宮武子
静間 翠
池田代子
鈴木登美子
矢花昌子
比嘉明子
藤原和衛
伊藤 翠
小林美恵子
阿部典子
岩間 浩
畝村治男
河辺隆也
林 康夫
平尾哲男
星山晋也
細田伸治
増沢光信
向井洋介
長沢啓子
山田とき枝
大山絹子
坂野寿子
野呂光子
中さよ子
牧野素子
和田菟子
宮本玲子
石沢秀夫
石村 進
漆原孝太郎
小美野四郎

黒崎 威
齊藤元一
坂巻持千男
桜井弘基
清水 信
田部光雄
富永幸雄
淵之上徳郎
矢鳥瑛之
八巻 矯
山名 精
横田可也
児玉克子
淵之上和子
内野悦子
黒田幸子
井上將也
浦尾亮一
遠藤秀夫
大西康平
尾崎節夫
川口忠宏
崎山光俊
佐藤 進
穴戸俊雅
菅野聖二
手島義雄
前田 豊
矢鳥栄市
若月晋吾
和田鷹男
小口悟子
松沢末枝
永井悠実
田川初子
柚原美智子
相原英子
宇田川淳一
五老信之介
篠崎 勝
滝田寿成
竹之下晴弘
野田晏弘
林 光生
北条勝巳
安留 直
吉田仁彦
渡部邦雄
矢鳥京子
浦島洋子
玉川睦子
帯刀穂子
井代悦子
鈴木美香子
竹井英子
瀬下郁子
安藤幹男
石塚安太郎
大石恭一
粕谷義久
齋藤正一
武田博之
遠山 睿
萩原直朗
堀越征一
森崎正義
山本 鼎
横山幸永
長谷川文子
山下泰子
松 弘子
湊野治子
染谷寿子
浅川和子
菅川夏子

高 10

阿部藤子
阿部基子

大内京子
中里光永
久松弘子
小浜桂子
川井登志子
井上康子
小黒紀子
河合貴代美
西谷和子
小川登美子
富沢文枝
山岸礼子
桑原富貴子
桑田昌子
一沢昭子
鈴木文江
戸井田清子
松田貴美子
小野里子
藤野紀美江
森川潤子
天野昌紀
金古芳章
河村 毅
坂根 健
御園賢治
柳生純磨
山田 進
菊地一代
茂木富美榮
柳田明子
藤沢水浜
小高美恵子
山田昭子
見米美登里
羽根田千賀子
直井一子
寺崎由紀子
角田哲朗
金井欣吾
佐藤 勝
高橋俊夫
調子省三
中村 靖
原 康子
池田昭子
河崎精子
菅家正江
橋本豊子
日紫喜美智
野口悦子
滝沢誠子
藍原 寧
青木達雄
石井晴士
宇佐美誠
鶴月宏明
大塚洋一
金沢健蔵
倉知文博
柴田晴夫
高田 繁
地口興重
土屋義孝
田島 寛
新延泰生
藤田 肇
本橋達朗
吉田信次郎
吉田 猛
吉田元彦
藤森伏子
蛭川章子
柴久美子
岩瀬美美子
太田路子
古田久美子
青山進午

安藤 肇
上野忠好
宇山捷利
小川皓司
奥野正晴
河原田盛夫
菊地吉盛
栗岡 肇
上妻 誠
斉藤 真
坂木庸晃
坂原良一
桜井徹志
館野元泰
大黒一弘
成瀬 济
檜山建宇
光田健児
深山方生
山田喜照
吉野慎一
関口昌子
大山 賢
角原佑一
笹川俊雄
鈴木良二
海野昭夫
羽根田達治
廣川和男
藤井英雄
古田勝久
古田紘一
武藤正照
新沢倫子
遠藤一子
上妻良子
大東千鶴子
村上治子
芦田典介
畝目俊三
大城尚史
神田俊夫
児玉 薫
斉藤鴻志
斉藤昌克
佐藤君夫
守随智二郎
高田誠之
中島三郎
原 靖信
原田好雄
古田周六
渡辺昭雄
鈴木 章
鈴木 章
田村元雄
松田治躬
小山泉子
榎本慶子
嶋さなえ
石崎 紘
片柳良一
鴻巣宏三
真田宗興
島野正敏
関根強一
谷 暉之
中村 淳
坂本正彦
根本幸次
堀内知行
新井春枝
杉野芳代
務台桂子

高 11

萩原清誠
村松廣子
今村未里子
後藤多栄子
門 迪子
古山昭子
加藤秀子
柴田紀江
伊藤千鶴子
高橋昌子
長島正枝
橋本峰子
根本知子
大田久子
寺島千代子
加藤 勇
樽松太郎
小島昭司
桜井郁生
渡辺 修
町田 訓
山口 裕

片山典子
大沢美憲
石川紀子
内田清子
関 操子
奥住悠夫
菊谷信夫
関根琢磨
中井紀男
生田日常義
羽田圓城
平田俊紀
福田哲也
山田揚一
吉田竜彦
若林とみ子
吉田栄子
佐々木浩子
百目鬼紀久子
秋山京子
安藤雍男
市川行紀
勝田辰己
倉持友昭
後藤 傳
永島英夫
藤本幸男
宮坂隆晴
宮本雄二
菊間信子
高橋弘子
岩波淑子
細井千津子
青木克己
秋山孝雄
榎本 壽
尾崎隆造
佐々木佳郎
浅野栄子
柴田節子
反町伸子
進藤マサ子
井上紘子
長谷川悦子
小川明美
小野昭子
板倉邦臣
岩崎信行
大橋真一
小城光章
北岡 博
小林一博
鈴木 章
田村元雄
松田治躬
小山泉子
榎本慶子
嶋さなえ
石崎 紘
片柳良一
鴻巣宏三
真田宗興
島野正敏
関根強一
谷 暉之
中村 淳
坂本正彦
根本幸次
堀内知行
新井春枝
杉野芳代
務台桂子

高 12

荒井亮三
阪本桂造
篠宮喜八郎
山口英男
吉田弘子

上村享子
新井 宏
岡武佳己
河井 進
佐々木茂
田村栄男
殿前康雄
永島秀幸
千葉勝恵
生地誠子
奥原研二
小坂信也
杉山圭介
原田 昭
三宅雅也
一条紘一
岸塚正昭
畔柳次郎
小宮良雄
平山 誠
矢田部禎夫
高木茂子
川原佳史子
相川桂子
相沢 勲
板橋昭寿
海野敬也
熊倉邦彦
下 弘明
高木真也
山崎紀一
和島 実
安東洋子
田伏和子
飯沼光子
斉藤多栄子
加賀美久美子
石井道子
網代順子
山田紀子
小野田敦子
笠井陽子
横山美子
牛島順子
佐甲万里
荻上寿美子
中村久美
宮田和枝
星野道子
関根宥子
村林星子
新井かほる

高 13

青木泰男
安達宏鎮
丸山和郎
内田幸完
岡田紘明
加藤能久
河辺尚之
櫻井正昭
篠 忠義
関根祥夫
益田 豊
尾林信子
早川祐子
中井まりえ
丸山素子
菅原玲子
一瀬重郎太
岡本馨男
早川 淳
見目昭夫
小林鉄巨
竹内篤臣
関山満郎
高田 勲
長井 功

平野忠雄
福市 靖
松園 格
松野厚一
山本章義
横沢哲彦
久保紘一
佐藤忠紘
高山武生
田中昇次
田野由夫
中本 攻
成田重雄
福岡康夫
松村 昇
須賀松江
安藤京子
荒井正昭
山田由美子
竹内浩子
斉藤美子
小松富貴子
佐藤和子
国澤栄子
澤村英子
関 好江
鈴木政子
前野道子
麻生紘二
市川敬二
大高光蔵
佐藤 昂
前川益男
風祭一枝
秋本明子
小浜佐紀子
秋元加代子
吉田和子
竹之内勝利
並木昭彦
森沢武彦
片山満理子
酒井政子
庄司淳子
高橋光子
早津澄子
結城理恵子
笠原孝之
斎藤 洋
高津幸一
棚井行隆
田一誠
戸塚仁史
永野信行
増淵路明
中田捷子
石田徳子
阿部郁子
小川千枝子
佐藤克子
土屋宏子
大井上晶子

高 14

東 信彦
追川 誠
吉田惟男
榎本美津恵
大久間睦子
三井美奈子
伊澤通子
田中由紀
水口哲子
久保美恵子
宮崎節子
紙谷和子
吉川康子
梶原典子
中村由紀子

角地令子
野村みや子
山本直子
上原敏行
杉山 充
竹林義彦
長野紘一
福田暉男
増岡建吾
島田純子
相澤朝子
滝沢由紀子
紀野順子
布施美佐子
上原玲子
斎藤歌子
勝田優子
平井育子
山口恵美子
渡部股子
岩崎 徹
安田 務
吉田恒彦
布施百合子
山本ケイ子
大山朝子
小林美代子
星野未女子
高木登茂子
千野照美
市村悦子
新井正治
國谷俊之
丹治靖之
浦田佐恵子
土屋待代
岡田 栄
山端昌代
土倉智美
田林 翠
吉津弘一
日下義弘
小西義之
合田義治
長谷正道
平井宣治
福沢知子
内田成昭
大西 宏
鈴木健夫
畑隆一郎
藤富正毅
本橋修明
和田興太郎
岡本 翼
越阪部稔
小林建夫
篠原庸雄
高橋一彦
竹本泰則
玉山昌利
福田 勤
三井通安
光田 敦
三森友直
平田雅子
内田阿紀子
添田禮子

高 15

岡田和之
小川伸之
神谷明正
小坂信二
小林将夫
酒井邦夫
佐藤 守
杉浦 亨
寺井 功

中川徹夫
南雲治嘉
前久保博士
丸山敏雄
山田勝治
石川孝子
石川文武
風祭年男
坂本紀生
白水 汎
保科欽司
仙澤龍雄
牧川 一
松藤洋治
松本雅雄
村上 広
渡辺浩通
三好静子
坂本幾重
岩野 潔
奥本久治
鈴木正英
高橋 豊
水島磐男
吉田智彦
根津初子
池上南久
石川靖之
野村素子
小泉洋子
二宮節子
飯田順子
山口八重子
枝吉聡子
石川慶子
上田健嗣
岡本 堯
新谷剛郎
渡辺正信
池水直子
岩本美和子
岡村静枝
高橋寿子
後藤乃婦子
高松淳好
土井美代子
中野環子
大崎幸子
加藤富士江
手島光代
大村純三
久保田繁
矢ヶ崎秀男
大熊洋子
伊藤いづみ
中林泰子
栗田いね子
佐々木信子
秋田道子
鈴木由紀子
五十野晴子
中島悠美子
佐々木純子
浅村洋子

高 16

神山宣彦
萩原 章
石川浩達
橋元 宏
服部俊幸
早船和子
桑野真暉子
古泉敬子
小原慎一郎
申 道昭
高野 泰
田丸 洋
松村 宏

佐藤由紀子
中村貞子
藤谷秀紀
土生 栄
市川スミ子
大久間展樹
小林雅通
鈴木 哲
柳瀬正敏
小島 静
森川道子
神崎紀子
花田里子
古山靖子
郷 昌代
吉田昭子
小鮎光平
小山崇夫
丸山俊章
石川慶子
須釜節子
篠原千寿子
大場修一
金尾裕文
玖野峰也
東 千恵
篠原 正
最上捷信
横川武彦
落合純子
飯島信枝
木村亜紗子
高岡真理子

高 17

荒川 敏
篠 和夫
中村賢二
森脇玲子
大山美智子
川和美秀
寺本隆道
橋本宏子
筒井由紀子
大橋田鶴子
早川聖子
佐賀治夫
田中襄一
吉仲貴美子
泉 由紀
山口雅子
天津德明
中江和夫
安部恵子
大町禾子
星野和子
案納邦義
石田 弘
永島和雄
平田三佐子
円より子
西尾啓子
飯田 稔
井口政明
豊島公治
中沢 稔
杉本裕子
佐賀道子
水上順子
山辺百代

高 18

湯田友子
岩渕その子
松本旬子
重政純子
西川早智子
高久 進
大山恭子

飯島澄枝
馬場のぶ子
井端知子
加藤照夫
石田芳子
加藤葉子
平林千鶴子
大川和彦
中村 讓
丸山淳子
大類肇子
兼松光子
林真理子
木村光太郎
住永憲治
中尾 宏
日月恭子
住永宣子
比留間弘子
市古夏生
岡部睦生
佐藤牧夫
富井利尚
長本孝一
古屋一仁
宮田健治
青木 隆
安齊秀行
関 馨
細井 謙
山田邦武
片淵 正
坂本豊樹
橋本 豊
林 敏安
横地棟器
宮田やよい
菅原園枝

高 19

酒井享平
中村律子
田村明子
下村葉子
石川真理子
鈴木知子
村田和恵
石塚久仁世
羽田野共孝
榎本美知子
吉沢治恵
池羽万里子
西川由紀
吉田久木子
鴨下 博
竹村万里子
長戸かおる
春山幸子
太田眞夫
桐生哲夫
佐久間優行
松島英人
松井恵美子
稲田 治
松本伸男
三浦けい子
上村岳明
村松健二郎
河内裕子

高 20

黒田一枝
鈴木定子
伊東正裕
松本 寛
源 恭子
青木利道
小池由紀夫
田中 保

松岡正明
佐藤陽子
佐々木公子
三東恵利
小平田正行
松永譲治
吉村健一
田中百合恵
小泉啓子
山崎春美
有馬保生
高橋 覚
高原善治
田沢 孝
豊野 勉
福井陽一
牧野吉雄
安部光保
石原正美
小平幸廣
田瀬理夫
森 政一
豊 哲男
和賀井宣孝
小田長馬

高 21

玉置雄三
増田きよみ
植村 久
並木芳雄
松村博康
富高頼子
上田 實
相沢真知子
平塚いづみ
倉地ますみ
田代あつ子
副島正子
徳山幸子
大谷政徳
森田秀樹
佐々木幸子
朝倉素雄
守本 純
山田武久
加藤和夫
松岡耕二
石井逸子
佐藤敬一
寺師良樹
中澤裕之
中島純夫
紺野百世
有富裕一郎
澤田 薫
露木 薫
野上 衛

高 22

土屋正己
安田和久
滝本行正
坂梨俊彦
木村和美
吉野 隆
平田 実
山上 明
川副泰治
山田 豊
玉利 桂
花澤亮司
下山たえ子
丸井妙子

高 23

渡辺信夫
古谷辰美
有川 悟

萩原正俊
木下直美
阿部てるよ
西木裕子
大野真史

高 24

五十嵐徹
福嶋雅喜
松崎昭夫
古城健二
山川 新
青木 繁
木下成夫
中岡佳良子
古谷寿枝
大塚正志
石川 経
古賀優美
新田啓子
沢田直彦

高 25

宇多正行
湯原真由美
吉富正尚
岩根祥隆
逢坂千香子
榎本三千雄
柴田正子
大橋 裕
長屋淳子
澤村めぐみ
山本幸恵
山口恵美子

高 26

笹川康夫
田中 稔
上原正美
竹本義之
近藤唯志
長縄三明
川上圭介

高 27

宇野伸一
川口純一
益村典子
浜田和章
山山裕光
Vardijan淳子
竹林悦子

高 28

安藤雅生
山中 博
鈴木さゆり
鶴田斉子
三木孝治郎
笹原順子
渡辺伊豆美
清水義裕
野島陽子
西澤正博

高 29

上津原勉
上司郁男
比留間雅紀
伊藤恭輔
野田麻里子
長谷川政
塩澤朋美

高 30

白石 清
鈴木淳雄
藤井方毅

大坪由佳
丸岡 正
西城淳美
浅野ますみ
田中啓子

高 31

小池輝夫
鳥居隆史
鈴木紀美枝
荻島律子
矢崎千枝
太田悦子
杉田大成
田中綾子
野村麻里

高 32

米山健生
石井寛良
仲沢浩一
三谷博和
檜木優子

高 33

桜井 健

高 34

藤江慶一郎
宮子あずさ
小柴秀昌
柴山 滋
村田英幸
嶋辰一郎

高 35

河南真由美
小坂康文
小林弘明
小林美穂

高 36

伊与部智子
池永雅子
高橋 穰

高 37

市川純子
本間次郎

高 40

石橋弘毅
坂口 緑
茂野千絵子

高 41

小沢梅樹
安多 清

高 42

中村匡宏

高 43

岩田ひろみ

高 44

土谷英範

高 45

高橋真喜

高 46

安齊 剣